

事務事業名	学校施設の維持修繕	事務事業No.	290
【基本情報】			
実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 義務事業 (法律で実施が義務づけられている) <input type="checkbox"/> 任意事業 (<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例 <input type="checkbox"/> 規則・規程・要綱 <input type="checkbox"/> なし)		
根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> あり (地方教育行政の組織及び運営に関する法律第二十三条) <input type="checkbox"/> なし		
種別	<input type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> 窓ソフト <input type="checkbox"/> 施設の管理・運営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> その他		
実施形態	<input type="checkbox"/> 全部直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託(公共的団体) <input checked="" type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> 全部委託(公共的団体) <input type="checkbox"/> 民間		
共通課題	<input type="checkbox"/> 環境関連 <input type="checkbox"/> 男女共同参画関連 <input type="checkbox"/> 情報化関連 <input type="checkbox"/> 市民協働関連		
担当部	学校教育部	担当課	庶務課
		担当課長	鈴木 遵矢

【総合計画における位置づけ】

レベル1(柱)	レベル2(施策)	レベル3(施策)	レベル4(施策)
豊かな人間性をはぐくむふれあいのあるまち(文化と教育)	学校教育	学習環境の整備・充実	教育施設の整備

【事業概要】

目的(何のために)	学校内の安全・衛生を確保することを主目的として、校舎・校庭の危険箇所等を改修することを目的としている。
対象(誰・何を対象に)	児童・生徒・教職員・来校者・近隣住民の安全衛生を確保する。
手段・方法(内容、やり方等)	専門的な修繕内容においては、業者等への発注を要するが、その他の修繕については、用務主事・施設係職員が技術の向上を目指し、日々独学(専門誌等での勉強)することや、用務主事研修会等で得た知識を生かすことにより、対応を行っている。
活動実績(事業の結果等)	<p>平成22年度の本事務事業の目標は何か。 <input checked="" type="checkbox"/>目標がある(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/>目標がない(ない理由を下欄に記入)</p> <p>(学校からの修繕依頼に対して速やかに対応する。)</p> <p>平成22年度の本事務事業の目標は達成できたか。 <input checked="" type="checkbox"/>達成できた(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/>達成できなかった(できなかった理由を下欄に記入)</p> <p>(予算の範囲であるが達成できた。)</p> <p>平成22年度の事業の結果等(具体的内容を下欄に記入)</p> <p>照明の修繕に関しては、一部であるが省エネを対象とした修繕を行えた。 (漏水に関しては、委託事業の利点を生かし速やかな対応ができることとなった。) 火災警報器の修繕に関しては、防火扉・防火シャッターの修繕を行った。</p>
見直し実績(事業の改善、実施方法の見直し等)	<p>事業開始から現在までに実施方法の見直し等を行っているか。 <input checked="" type="checkbox"/>行っている(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/>行っていない(行っていない理由を下欄に記入)</p> <p>(用務主事・施設係職員がそれぞれの持つ技術を発揮して自分たちでできる範囲が増えている。)</p> <p>本事務事業に課題・問題点はあるか。 <input checked="" type="checkbox"/>ある(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/>ない</p> <p>(近年の厳しい財政状況において、十分でない予算を補う形として、市職員が修繕に対応するケースも増えているが、その能力にも限界があるうえ、人件費等が発生してしまう。)</p> <p>課題・問題点に対して見直しを行う必要があるか。 <input type="checkbox"/>ある →課題・問題点を見直す具体的手法は何か。(選択し具体的内容を下欄に記入、複数選択可) <input type="checkbox"/>庁内検討 <input type="checkbox"/>市民協働 <input type="checkbox"/>外部委託 <input type="checkbox"/>指定管理者 <input type="checkbox"/>その他 <input type="checkbox"/>ない(行わない理由を下欄に記入)</p>

【総コスト指標】

(単位:円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度(計画)
歳出	事業費(決算額) ①	25,712,737	34,805,936
	当初予算額	24,666,000	31,083,000
	決算額	25,712,737	34,805,936
	執行率	104.24%	111.98%
	人件費合計 ②	6,060,000	6,185,000
	一般職員工数(人/年)	0.300	0.250
	一般職員人件費	2,760,000	2,225,000
	再任用職員工数(人/年)	1.100	1.100
	再任用職員人件費	3,300,000	3,960,000
	嘱託職員人件費	0	0
歳出計 A(①+②)	31,772,737	40,990,936	35,870,000
歳入	国・都支出金の合計 ③	0	0
	使用料・手数料の合計 ④	0	0
	その他の合計 ⑤	0	0
	歳入合計 B(③+④+⑤)	0	0

(単位:円)

純支出額 C(A-B)	31,772,737	40,990,936	35,870,000
市民1人当たりコスト (C/人口)	285.415	366.580	316.663
指標1当たりコスト (C/成果実績値)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
指標2当たりコスト (C/成果実績値)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

【指標データ】

指標	活動量	名称	単位	値	21年度	22年度	23年度
					目標値	実績値	目標値
指標1	活動量	名称	修繕件数	件	目標値	—	—
		説明	市立小中学校で行われた1年間の修繕件数		実績値	150	176
指標2	成果	名称			目標値		
		説明			実績値		
指標1	活動量	名称			目標値		
		説明			実績値		
指標2	成果	名称			目標値		
		説明			実績値		

【第1次評価】(事業担当課による分析・自主評価)

事業概要、予算概要、総コスト指標、指標データを踏まえた自主評価	
<p>学校施設の経年による老朽化で、修繕が必要とされる例としては、 ①電気設備関係については、蛍光灯の安定器の故障、設備の劣化による漏電。②上水・下水関係については、経年劣化による埋設給水管からの漏水、トイレ・下水管からの悪臭の発生・排水管の詰まり。③校庭遊具の経年劣化による修繕・使用禁止処置。④学校の安全をさらに強化するため、防火設備の改修。⑤今後の省エネ政策に必要な対応。 上記の主な修繕で予算の大半を使用してしまうため、予算の許される範囲内において、児童生徒の学習環境に影響が少ない修繕を行っているのが現状である。</p>	
今後の方針(活動量:平成24年度の活動量の方針)(予算:平成23年度と比較した平成24年度の予算の方針)	
活動量	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 委託化 <input type="checkbox"/> 協働化 <input type="checkbox"/> 情報化
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止

【第2次評価】（他課の管理職者による評価）

1次評価及びヒアリングを踏まえた2次評価	
<p>本事業については、「学校内の安全・衛生を確保するため、校舎・校庭の危険箇所等を改修することを目的」とした維持修繕事業としている。すでに学校の建築物は、経年とともに老朽化が進み維持修繕に係る費用は拡大しているものとする。今後、いかに限られた予算で効率よく維持管理を行っていくためには、学校からの修繕依頼に対し、緊急的な修繕については、スピーディーに対応し、また、修繕内容によっては、項目修繕及び改修工事などに区分することで、より計画的に修繕計画を行うことが必要である。修繕については、専門的な判断を求められることから、施設系の職員が現状を把握・判断し、業者への発注を行い、簡易な修繕については、これまでと同様に学校の用務主事と協力し、更なる学校内の安全・衛生の確保に努められたい。</p>	
<p>今後の方針（活動量：平成24年度の活動量の方針）（予算：平成23年度と比較した平成24年度の予算の方針）</p>	
活動量	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 委託化 <input type="checkbox"/> 協働化 <input type="checkbox"/> 情報化
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止

【第3次評価】（庁内部部長職者で構成する行政評価会議による評価）

1次評価及び2次評価を踏まえた3次評価	
<p> </p>	
<p>今後の方針（活動量：平成24年度の活動量の方針）（予算：平成23年度と比較した平成24年度の予算の方針）</p>	
活動量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 委託化 <input type="checkbox"/> 協働化 <input type="checkbox"/> 情報化
予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止

事務事業名	早朝学校管理事業	事務事業No.	295
【基本情報】			
実施義務	<input type="checkbox"/> 義務事業（法律で実施が義務づけられている） <input checked="" type="checkbox"/> 任意事業（ <input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例 <input type="checkbox"/> 規則・規程・要綱 <input checked="" type="checkbox"/> なし）		
根拠法令等	<input type="checkbox"/> あり（ ） <input checked="" type="checkbox"/> なし		
種別	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> 窓ソフト <input checked="" type="checkbox"/> 施設の管理・運営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> その他		
実施形態	<input type="checkbox"/> 全部直営 <input type="checkbox"/> 一部委託（ <input type="checkbox"/> 公共的団体 <input type="checkbox"/> 民間） <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託（ <input checked="" type="checkbox"/> 公共的団体 <input type="checkbox"/> 民間）		
共通課題	<input type="checkbox"/> 環境関連 <input type="checkbox"/> 男女共同参画関連 <input type="checkbox"/> 情報化関連 <input type="checkbox"/> 市民協働関連		
担当部	学校教育部	担当課	庶務課
		担当課長	鈴木遵夫

【総合計画における位置づけ】

レベル1(柱)	レベル2(施策)	レベル3(施策)	レベル4(施策)
豊かな人間性をはぐくむふれあいのあるまち(文化と教育)	学校教育	学習環境の整備・充実	なし

【事業概要】

目的 (何のために)	早朝の学校施設の円滑な管理運営・安全の確保を目的とする。
対象 (誰・何を対象に)	市立小・中学校施設、児童生徒、教職員等
手段・方法 (内容、やり方等)	主に、玄関等の開鍵、遠方監査装置・電話装置の切換え、学校内の異常の有無の確認・報告、電話等対応、業務日誌の記帳等により、早朝の学校施設の管理を行う。
活動実績 (事業の結果等)	平成22年度の本事務事業の目標は何か。 <input checked="" type="checkbox"/> 目標がある(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/> 目標がない(ない理由を下欄に記入) (学校開校日に常時問題なく学校を開鍵し、校内の安全・安心を確保する。) 平成22年度の本事務事業の目標は達成できたか。 <input checked="" type="checkbox"/> 達成できた(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/> 達成できなかった(できなかった理由を下欄に記入) (玄関等の開鍵、遠方監査装置・電話装置の切換え、学校内の異常の有無の確認・報告、電話等対応、業務日誌の記帳により、早朝の学校施設を管理した。) 平成22年度の事業の結果等(具体的内容を下欄に記入) (玄関等の開鍵、遠方監査装置・電話装置の切換え、学校内の異常の有無の確認・報告、電話等対応、業務日誌の記帳により、早朝の学校施設を管理した。)
見直し実績 (事業の改善、実施方法の見直し等)	事業開始から現在までに実施方法の見直し等を行っているか。 <input type="checkbox"/> 行っている(具体的内容を下欄に記入) <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない(行っていない理由を下欄に記入) (学校の円滑な管理運営上必要な事業であり、現行の実施内容が適正であったため) 本事務事業に課題・問題点はあるか。 <input type="checkbox"/> ある(具体的内容を下欄に記入) <input checked="" type="checkbox"/> ない () 課題・問題点に対して見直しを行う必要があるか。 <input type="checkbox"/> ある →課題・問題点を見直す具体的手法は何か。(選択し具体的内容を下欄に記入、複数選択可) <input type="checkbox"/> 庁内検討 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 外部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> ない(行わない理由を下欄に記入) (現行の実施内容により目的を達成しているため)

【総コスト指標】

(単位:円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度(計画)	
歳出	事業費(決算額) ①	4,286,320	4,345,088	
	当初予算額	4,332,000	4,332,000	4,397,000
	決算額	4,286,320	4,345,088	
	執行率	98.95%	100.30%	
	人件費合計 ②	1,315,600	1,272,700	1,215,500
	一般職員工数(人/年)	0.143	0.143	0.143
	一般職員人件費	1,315,600	1,272,700	1,215,500
	再任用職員工数(人/年)	0.000	0.000	0.000
	再任用職員人件費	0	0	0
	嘱託職員人件費	0	0	0
歳出計 A(①+②)	5,601,920	5,617,788	5,612,500	
歳入	国・都支出金の合計 ③	0	0	0
	使用料・手数料の合計 ④	0	0	0
	その他の合計 ⑤	0	0	0
	歳入合計 B(③+④+⑤)	0	0	0

(単位:円)

純支出額 C(A-B)	5,601,920	5,617,788	5,612,500
市民1人当たりコスト (C/人口)	50.322	50.240	49.548
指標1当たりコスト (C/成果実績値)	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!
指標2当たりコスト (C/成果実績値)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

【指標データ】

指標	活動量	名称	単位	値	21年度	22年度	23年度	
					目標値	実績値	目標値	実績値
指標1	活動量	名称	早朝学校管理	回	目標値	1809	1809	1836
		説明	平日及び学校公開日(土曜授業等)に実施		実績値	1788	1821	
	成果	名称	市立小・中学校関係者	数	目標値	-	-	-
		説明	市立小・中学校児童生徒、教職員等学校関係者		実績値	-	-	
指標2	活動量	名称			目標値			
		説明			実績値			
	成果	名称			目標値			
		説明			実績値			

【第1次評価】(事業担当課による分析・自主評価)

事業概要、予算概要、総コスト指標、指標データを踏まえた自主評価	
シルバー人材センターに委託し、早朝の玄関等の開鍵、遠方監視装置・電話装置の切換え、学校内の異常の有無の確認・報告、電話等の対応に関するを行う。 各校2名の人員を配置し、交代制による勤務を行っており、確実に安定的な早朝の施設管理、安全確保がなされている。 土曜日授業の開催等、近年の動向に合わせた柔軟な対応を行い、引き続き早朝における学校の円滑な管理運営を確保していくことを今後の目標としている。	
今後の方針（活動量：平成24年度の活動量の方針）（予算：平成23年度と比較した平成24年度の予算の方針）	
活動量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 委託化 <input type="checkbox"/> 協働化 <input type="checkbox"/> 情報化
予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止

事務事業名	学区区域係事務	事務事業No.	264
【基本情報】			
実施義務	<input type="checkbox"/> 義務事業（法律で実施が義務づけられている） <input checked="" type="checkbox"/> 任意事業（ <input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例 <input checked="" type="checkbox"/> 規則・規程・要綱 <input type="checkbox"/> なし）		
根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> あり（小金井市立学校の通学区に関する規則） <input type="checkbox"/> なし		
種別	<input type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> 窓ソフト <input type="checkbox"/> 施設の管理・運営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 内部管理 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 全部直営 <input type="checkbox"/> 一部委託（ <input type="checkbox"/> 公共的団体 <input type="checkbox"/> 民間） <input type="checkbox"/> 全部委託（ <input type="checkbox"/> 公共的団体 <input type="checkbox"/> 民間）		
共通課題	<input type="checkbox"/> 環境関連 <input type="checkbox"/> 男女共同参画関連 <input type="checkbox"/> 情報化関連 <input checked="" type="checkbox"/> 市民協働関連		
担当部	学校教育部	担当課	学務課
		担当課長	前島 賢

【総合計画における位置づけ】

レベル1(柱)	レベル2(施策)	レベル3(施策)	レベル4(施策)
豊かな人間性をはぐくむふれあいのあるまち(文化と教育)	学校教育	教育内容・方法の充実	時代に即した教育内容の充実

【事業概要】

目的 (何のために)	適正な学区区域の設定
対象 (誰・何を対象に)	市内小中学生
手段・方法 (内容、やり方等)	適正学区等検討作業部会を開催し、その後適正学区等検討協議会で協議する
活動実績 (事業の結果等)	<p>平成22年度の本事務事業の目標は何か。 <input checked="" type="checkbox"/>目標がある(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/>目標がない(ない理由を下欄に記入)</p> <p>(検討作業部会を開催し、その後、適正な学区区域を検討協議会で協議する。)</p> <p>平成22年度の本事務事業の目標は達成できたか。 <input type="checkbox"/>達成できた(具体的内容を下欄に記入) <input checked="" type="checkbox"/>達成できなかった(できなかった理由を下欄に記入)</p> <p>検討作業部会を2回開催し、検討結果を教育長に報告したが、公立小・中学校における今後の学級人数の動向及びJR中央線高架に伴う道路の整備状況を勘案し、協議会の設置を見送ることとした。 平成22年度の事業の結果等(具体的内容を下欄に記入)</p> <p>(検討作業部会を2回開催し、議論を重ねた結果、公立小・中学校における今後の学級人数の動向及びJR中央線高架に伴う道路の整備状況を勘案し、協議会の設置を見送ることとした。)</p>
見直し実績 (事業の改善、実施方法の見直し等)	<p>事業開始から現在までに実施方法の見直し等を行っているか。 <input type="checkbox"/>行っている(具体的内容を下欄に記入) <input checked="" type="checkbox"/>行っていない(行っていない理由を下欄に記入)</p> <p>(検討作業部会及び検討協議会で、協議する必要があるため。)</p> <p>本事務事業に課題・問題点はあるか。 <input type="checkbox"/>ある(具体的内容を下欄に記入) <input checked="" type="checkbox"/>ない</p> <p>()</p> <p>課題・問題点に対して見直しを行う必要があるか。 <input type="checkbox"/>ある →課題・問題点を見直す具体的手法は何か。(選択し具体的内容を下欄に記入、複数選択可) <input type="checkbox"/>庁内検討 <input type="checkbox"/>市民協働 <input type="checkbox"/>外部委託 <input type="checkbox"/>指定管理者 <input type="checkbox"/>その他 <input checked="" type="checkbox"/>ない(行わない理由を下欄に記入)</p> <p>(課題・問題点はないため。)</p>

【総コスト指標】

(単位:円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度(計画)
事業費(決算額) ①	0	0	
当初予算額	0	364,000	0
決算額	0	0	
執行率	#DIV/0!	0.00%	
人件費合計 ②	0	774,300	0
一般職員工数(人/年)	0.000	0.087	0.000
一般職員人件費	0	774,300	0
再任用職員工数(人/年)	0.000	0.000	0.000
再任用職員人件費	0	0	0
嘱託職員人件費	0	0	0
歳出計 A(①+②)	0	774,300	0
国・都支出金の合計 ③	0	0	0
使用料・手数料の合計 ④	0	0	0
その他の合計 ⑤	0	0	0
歳入合計 B(③+④+⑤)	0	0	0

(単位:円)

純支出額 C(A-B)	0	774,300	0
市民1人当たりコスト (C/人口)	0.000	6.925	0.000
指標1当たりコスト (C/成果実績値)	#DIV/0!	86,033.333	#DIV/0!
指標2当たりコスト (C/成果実績値)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

【指標データ】

		指標	単位	値	21年度	22年度	23年度	
指標1	活動量	名称	適正学区等検討作業部会開催数	回	目標値	0	2	0
		説明	作業部会の開催数		実績値	0	2	
	成果	名称	検討作業部会委員参加者数	人	目標値	0	9	0
		説明	検討作業部会委員の参加者数		実績値	0	9	
指標2	活動量	名称	適正学区等検討協議会開催数	回	目標値	0	4	0
		説明	協議会の開催数		実績値	0	0	
	成果	名称	協議会委員参加者数	人	目標値	0	9	0
		説明	協議会委員の参加者数		実績値	0	0	

【第1次評価】(事業担当課による分析・自主評価)

事業概要、予算概要、総コスト指標、指標データを踏まえた自主評価	
JR中央線の高架に伴う適正学区の検討について着手したが、適正学区検討協議会(以下「協議会」という。)の設置は、学級人数の動向や高架に伴う道路の整備状況を勘案しJR中央線高架下の道路の供用が具体的に、通学路としても使用可能に整備される時期にあわせて設置することが有効であると判断した。今後、道路の整備状況に注意を払い、最も適した時機を確実に捉え協議会設置をしていく必要がある。	
今後の方針(活動量:平成24年度の活動量の方針)(予算:平成23年度と比較した平成24年度の予算の方針)	
活動量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 委託化 <input type="checkbox"/> 協働化 <input type="checkbox"/> 情報化
予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止

事務事業名	特別支援学級管理事業	事務事業No.	268
【基本情報】			
実施義務	<input type="checkbox"/> 義務事業（法律で実施が義務づけられている） <input checked="" type="checkbox"/> 任意事業（ <input checked="" type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例 <input type="checkbox"/> 規則・規程・要綱 <input type="checkbox"/> なし）		
根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> あり（学校教育法第81条） <input type="checkbox"/> なし		
種別	<input type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> 窓ソフト <input checked="" type="checkbox"/> 施設の管理・運営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> その他		
実施形態	<input type="checkbox"/> 全部直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託（ <input type="checkbox"/> 公共的団体 <input checked="" type="checkbox"/> 民間） <input type="checkbox"/> 全部委託（ <input type="checkbox"/> 公共的団体 <input type="checkbox"/> 民間）		
共通課題	<input type="checkbox"/> 環境関連 <input type="checkbox"/> 男女共同参画関連 <input type="checkbox"/> 情報化関連 <input type="checkbox"/> 市民協働関連		
担当部	学校教育部	担当課	学務課
		担当課長	前島 賢

【総合計画における位置づけ】

レベル1(柱)	レベル2(施策)	レベル3(施策)	レベル4(施策)
豊かな人間性をはぐむふれあいのあるまち(文化と教育)	学校教育	教育内容・方法の充実	特別支援教育の充実

【事業概要】

目的 (何のために)	小・中学校の特別支援学級における管理運営の充実を図り、適切な学級運営を行うため
対象 (誰・何を対象に)	特別支援学級に在籍する児童・生徒及び通級学級に通う児童・生徒
手段・方法 (内容、やり方等)	学級運営を適切に行うため、物品等の整備を行う。 特別支援学級に在籍する児童の登下校及び学校行事等の参加に際し、安全確保を目的としスクールバスを運行(小学校児童1年～3年が対象)する。 特別支援学級に在籍する生徒に対し、希望する保護者へGPS携帯端末を貸与し安全を確保する。
活動実績 (事業の結果等)	<p>平成22年度の本事務事業の目標は何か。 <input checked="" type="checkbox"/>目標がある(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/>目標がない(ない理由を下欄に記入)</p> <p>(学習環境の整備・充実及び東小ひまわり学級開設に伴う環境整備)</p> <p>平成22年度の本事務事業の目標は達成できたか。 <input type="checkbox"/>達成できた(具体的内容を下欄に記入) <input checked="" type="checkbox"/>達成できなかった(できなかった理由を下欄に記入)</p> <p>(平成23年度4月東小ひまわり学級開設に向け、学習環境の整備を行った点は達成できたが、スクールバスについて、登校時2台運行と増やしたが、一部不十分な面もあり、課題が残った。)</p> <p>平成22年度の事業の結果等(具体的内容を下欄に記入) 平成23年度4月東小ひまわり学級開設に係る備品等を整備 利用児童の増に伴いスクールバスを2台運行にすることにより、登校時間の遅れ等を解消できたが、下校時は1台運行のため、下校時間の遅れが生じる等不十分な面があった。</p>
見直し実績 (事業の改善、実施方法の見直し等)	<p>事業開始から現在までに実施方法の見直し等を行っているか。 <input checked="" type="checkbox"/>行っている(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/>行っていない(行っていない理由を下欄に記入)</p> <p>(小学校においては、スクールバス運行増や一部電子複写機賃貸の新設 中学校においては、GPS携帯端末の貸与)</p> <p>本事務事業に課題・問題点はあるか。 <input checked="" type="checkbox"/>ある(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/>ない</p> <p>(各学級に電子複写機が整備されていない等十分な整備ができていない面がある。 特別な支援を必要とする児童・生徒増に伴う学級増等の対応)</p> <p>課題・問題点に対して見直しを行う必要があるか。 <input checked="" type="checkbox"/>ある →課題・問題点を見直す具体的手法は何か。(選択し具体的内容を下欄に記入、複数選択可) <input checked="" type="checkbox"/>庁内検討 <input type="checkbox"/>市民協働 <input type="checkbox"/>外部委託 <input type="checkbox"/>指定管理者 <input checked="" type="checkbox"/>その他 <input type="checkbox"/>ない(行わない理由を下欄に記入)</p> <p>(予算配分の見直しを行う等必要度の高いものを整備していく。 各学級の編制動向を関連部署と連携し、計画的に整備する。)</p>

【総コスト指標】

(単位:円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度(計画)	
歳出	事業費(決算額) ①	7,392,672	11,949,697	
	当予算額	7,951,000	9,426,000	14,349,000
	決算額	7,392,672	11,949,697	
	執行率	92.98%	126.77%	
	人件費合計 ②	1,472,000	1,869,000	1,360,000
	一般職員工数(人/年)	0.160	0.210	0.160
	一般職員人件費	1,472,000	1,869,000	1,360,000
	再任用職員工数(人/年)	0.000	0.000	0.000
	再任用職員人件費	0	0	0
	嘱託職員人件費	0	0	0
歳出計 A(①+②)	8,864,672	13,818,697	15,709,000	
歳入	国・都支出金の合計 ③	0	0	0
	利用料・手数料の合計 ④	0	0	0
	その他の合計 ⑤	0	0	0
	歳入合計 B(③+④+⑤)	0	0	0

(単位:円)

純支出額 C(A-B)	8,864,672	13,818,697	15,709,000
市民1人当たりコスト (C/人口)	79.632	123.580	138.680
指標1当たりコスト (C/成果実績値)	64,236.754	94,648.610	114,664.234
指標2当たりコスト (C/成果実績値)	466,561.684	658,033.190	924,058.824

【指標データ】

指標	活動量	名称	単位	値	21年度	22年度	23年度
					目標値	実績値	目標値
指標1	活動量	特別支援学級設置校	校	目標値	6	6	7
		特別支援学級(固定学級3校、通級学級3校)		実績値	6	6	
	成果	在籍者等	人	目標値	138	146	137
		特別支援学級(通級を含む)に在籍する児童・生徒数		実績値	138	146	
指標2	活動量	スクールバス運行	台	目標値	1	2	3
		スクールバス運行台数		実績値	1	2	
	成果	スクールバス利用者数	人	目標値	19	21	17
		小学校特別支援学級(固定)に在籍者でスクールバス利用者		実績値	19	21	

【第1次評価】(事業担当課による分析・自主評価)

事業概要、予算概要、総コスト指標、指標データを踏まえた自主評価	
特別な支援を必要とする児童・生徒は増加傾向にあり、知的障害のための固定学級は小学校2校(平成23年度からは3校)に対し、中学校は1校のみであり、受入れ人数や登校距離等を考慮しながら増設することの検討をする。併せて、小学校の情緒障害のための通級学級2校についても学級増をしながら現在各校3学級で編制しているが、これ以上の学級増は施設のにも難しく、増設することが必要である。 これまでも学級を新設したりスクールバス運行の台数を増やし、充実に努めているが、増加が見込まれる中、計画的に特別支援学級の増設を検討する。	
今後の方針(活動量:平成24年度の活動量の方針)(予算:平成23年度と比較した平成24年度の予算の方針)	
活動量	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 委託化 <input type="checkbox"/> 協働化 <input type="checkbox"/> 情報化
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止

【第2次評価】（他課の管理職者による評価）

1次評価及びヒアリングを踏まえた2次評価	
<p>特別な支援を必要とする児童・生徒は増加傾向にあることから、新たな学級の開設を行うなど、学習環境の整備を図ることは重要であると認められる。ただし、学級開設に伴い、スクールバスの運行台数を増やしたにもかかわらず、不十分な面があるとのことで、これらの課題解決に向けて取り組む必要がある。また、各学級毎に電子複写機を整備したい旨の要望があるが、これについては、年間利用枚数が800枚程度ということで、費用対効果の観点から、学校内での併用など検討する必要があると考える。</p>	
今後の方針（活動量：平成24年度の活動量の方針）（予算：平成23年度と比較した平成24年度の予算の方針）	
活動量	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 委託化 <input type="checkbox"/> 協働化 <input type="checkbox"/> 情報化
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止

【第3次評価】（庁内部部長職者で構成する行政評価会議による評価）

1次評価及び2次評価を踏まえた3次評価	
<p> </p>	
今後の方針（活動量：平成24年度の活動量の方針）（予算：平成23年度と比較した平成24年度の予算の方針）	
活動量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 委託化 <input type="checkbox"/> 協働化 <input type="checkbox"/> 情報化
予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止

事務事業名	学校医等設置事業	事務事業No.	275
【基本情報】			
実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 義務事業 (法律で実施が義務づけられている) <input type="checkbox"/> 任意事業 (<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例 <input type="checkbox"/> 規則・規程・要綱 <input type="checkbox"/> なし)		
根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> あり (学校保健安全法) <input type="checkbox"/> なし		
種別	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> 窓口ソフト <input type="checkbox"/> 施設の管理・運営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> その他		
実施形態	<input type="checkbox"/> 全部直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 (<input type="checkbox"/> 公共的団体 <input type="checkbox"/> 民間) <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 (<input checked="" type="checkbox"/> 公共的団体 <input type="checkbox"/> 民間)		
共通課題	<input type="checkbox"/> 環境関連 <input type="checkbox"/> 男女共同参画関連 <input type="checkbox"/> 情報化関連 <input checked="" type="checkbox"/> 市民協働関連		
担当部	学校教育部	担当課	学務課
		担当課長	前島 賢

【総合計画における位置づけ】

レベル1(柱)	レベル2(施策)	レベル3(施策)	レベル4(施策)
豊かな人間性をほぐぐむふれあいのあるまち(文化と教育)	学校教育	教育内容・方法の充実	児童生徒の心と体のケア

【事業概要】

目的 (何のために)	児童生徒の心身の健康の保持増進を図るため、学校医等を設置する。
対象 (誰・何を対象に)	市立小・中学校に在籍する児童生徒
手段・方法 (内容、やり方等)	市立小・中学校に学校医(内科・耳鼻科・眼科・精神科)、学校歯科医、学校薬剤師を任命し、学校における保健管理に関する専門的事項に関し、技術及び指導に従事するよう委嘱する。
活動実績 (事業の結果等)	<p>平成22年度の本事務事業の目標は何か。 <input checked="" type="checkbox"/>目標がある(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/>目標がない(ない理由を下欄に記入)</p> <p>(任期が原則2年間であり、23年度は改選となるため、その委嘱事務を行い、23年度からの学校医、学校歯科医、学校薬剤師を任命、委嘱する。また月毎に報酬を支払う。)</p> <p>平成22年度の本事務事業の目標は達成できたか。 <input checked="" type="checkbox"/>達成できた(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/>達成できなかった(できなかった理由を下欄に記入)</p> <p>(市医師会、歯科医師会、学校薬剤師会に推薦を依頼し、教育委員会に諮問し、承認された。また支払が間に合うよう、手続をすることができた。)</p> <p>平成22年度の事業の結果等(具体的内容を下欄に記入)</p> <p>(市医師会、歯科医師会、学校薬剤師会に推薦を依頼し、教育委員会へ諮問した。承認後、委嘱状を作成し、送付した。また支払が間に合うよう、手続をすることができた。)</p>
見直し実績 (事業の改善、実施方法の見直し等)	<p>事業開始から現在までに実施方法の見直し等を行っているか。 <input type="checkbox"/>行っている(具体的内容を下欄に記入) <input checked="" type="checkbox"/>行っていない(行っていない理由を下欄に記入)</p> <p>(法的に義務付けられている事業であり、法改正等があった場合のみ見直しをするため。)</p> <p>本事務事業に課題・問題点はあるか。 <input type="checkbox"/>ある(具体的内容を下欄に記入) <input checked="" type="checkbox"/>ない</p> <p>(現在のところ法改正はなく、事業内容にも課題等がないため。)</p> <p>課題・問題点に対して見直しを行う必要があるか。 <input type="checkbox"/>ある <input type="checkbox"/>ない <input checked="" type="checkbox"/>ない(行わない理由を下欄に記入)</p> <p>(現在のところ法改正はなく、事業内容にも課題等がないため。)</p>

【総コスト指標】 (単位:円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度(計画)
事業費(決算額) ①	33,666,290	33,561,140	
当初予算額	33,728,000	33,604,000	33,671,000
決算額	33,666,290	33,561,140	
執行率	99.82%	99.87%	
人件費合計 ②	0	774,300	0
一般職員工数(人/年)	0.000	0.087	0.000
一般職員人件費	0	774,300	0
再任用職員工数(人/年)	0.000	0.000	0.000
再任用職員人件費	0	0	0
嘱託職員人件費	0	0	0
歳出計 A(①+②)	33,666,290	34,335,440	33,671,000
国・都支出金の合計 ③	0	0	0
使用料・手数料の合計 ④	0	0	0
その他の合計 ⑤	0	0	0
歳入合計 B(③+④+⑤)	0	0	0

(単位:円)

純支出額 C(A-B)	33,666,290	34,335,440	33,671,000
市民1人当たりコスト (C/人口)	302.425	307.060	297.250
指標1当たりコスト (C/成果実績値)	474,173.099	483,597.746	474,239.437
指標2当たりコスト (C/成果実績値)	673,325.800	686,708.800	687,163.265

【指標データ】

		指標	単位	値	21年度	22年度	23年度
指標1	活動量	名称 学校医等設置対象校数	校	目標値	14	14	14
	説明	学校医等を設置した対象校の数		実績値	14	14	
指標2	成果	名称 各学校(14校)に設置する学校医等の合計人数	人	目標値	71	71	71
	説明	各学校(14校)に設置した学校医等の合計人数		実績値	71	71	
指標2	活動量	名称 各学校(14校)に設置する学校医等の合計人数	人	目標値	71	71	71
	説明	各学校(14校)に設置した学校医等の合計人数		実績値	71	71	
指標2	成果	名称 学校医等を委嘱する人数	人	目標値	50	50	49
	説明	実際に学校医等を委嘱した人数(1人で複数校担当している)		実績値	50	50	

【第1次評価】(事業担当課による分析・自主評価)

事業概要、予算概要、総コスト指標、指標データを踏まえた自主評価	
法的に義務付けられており、学校における児童生徒の保健管理に対しても必要な事業である。滞りなく事業を行っており、引き続き継続していく。	
今後の方針 (活動量:平成24年度の活動量の方針) (予算:平成23年度と比較した平成24年度の予算の方針)	
活動量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 委託化 <input type="checkbox"/> 協働化 <input type="checkbox"/> 情報化
予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止

事務事業名	就学時健診事業	事務事業No.	276
【基本情報】			
実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 義務事業 (法律で実施が義務づけられている) <input type="checkbox"/> 任意事業 (<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例 <input type="checkbox"/> 規則・規程・要綱 <input type="checkbox"/> なし)		
根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> あり (学校保健安全法、学校保健安全法施行規則、学校保健安全法施行令) <input type="checkbox"/> なし		
種別	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> 窓口ソフト <input type="checkbox"/> 施設の管理・運営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> その他		
実施形態	<input type="checkbox"/> 全部直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 (<input checked="" type="checkbox"/> 公共的団体 <input checked="" type="checkbox"/> 民間) <input type="checkbox"/> 全部委託 (<input type="checkbox"/> 公共的団体 <input type="checkbox"/> 民間)		
共通課題	<input type="checkbox"/> 環境関連 <input type="checkbox"/> 男女共同参画関連 <input type="checkbox"/> 情報化関連 <input checked="" type="checkbox"/> 市民協働関連		
担当部	学校教育部	担当課	学務課
		担当課長	前島 賢

【総合計画における位置づけ】

レベル1(柱)	レベル2(施策)	レベル3(施策)	レベル4(施策)
豊かな人間性をはぐむふれあいのあるまち(文化と教育)	学校教育	教育内容・方法の充実	児童生徒の心と体のケア

【事業概要】

目的 (何のために)	入学時前までに健康な状態もしくは就学が可能となる心身の状態にし、入学後、安心して学校生活を過ごせるようにするため。
対象 (誰・何を対象に)	住民登録のある小学校就学予定者
手段・方法 (内容、やり方等)	対象者に実施通知を送付し、受診を促す
活動実績 (事業の結果等)	<p>平成22年度の本事務事業の目標は何か。 <input checked="" type="checkbox"/>目標がある(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/>目標がない(ない理由を下欄に記入)</p> <p>(対象校については全市立小学校で実施し、受診率を概ね100%にする。)</p> <p>平成22年度の本事務事業の目標は達成できたか。 <input checked="" type="checkbox"/>達成できた(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/>達成できなかった(できなかった理由を下欄に記入)</p> <p>(全市立小学校で実施ができ、受診率も90%以上であった。また未受診者については、再通知をした。)</p> <p>平成22年度の事業の結果等(具体的内容を下欄に記入)</p> <p>学校医・学校歯科医と学校との開催日程を調整し、決定、通知を送付した。また臨時職員の雇用と当日健診補助ができる補助員を依頼し、開催当日は、5~6名の課員とともに各学校へ行き、実施した。また未受診者については、再通知をし、受診を促した。</p>
見直し実績 (事業の改善、実施方法の見直し等)	<p>事業開始から現在までに実施方法の見直し等を行っているか。 <input checked="" type="checkbox"/>行っている(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/>行っていない(行っていない理由を下欄に記入)</p> <p>(受診がなかった就学前児童については、就学時健診終了後、各校医への医療機関でも受診できる通知を送付するようにした。)</p> <p>本事務事業に課題・問題点はあるか。 <input checked="" type="checkbox"/>ある(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/>ない</p> <p>開催当日の職員等の仕事について、明確な実施要領等を作成していないため、混乱が生じることがある。また開催当日は課員の約半数が補助として出てしまうため、通常業務に支障が出ている。 課題・問題点に対して見直しを行う必要があるか。 <input checked="" type="checkbox"/>ある 　一課題・問題点を見直す具体的手法は何か。(選択し具体的内容を下欄に記入、複数選択可) <input checked="" type="checkbox"/>庁内検討 <input type="checkbox"/>市民協働 <input type="checkbox"/>外部委託 <input type="checkbox"/>指定管理者 <input type="checkbox"/>その他 <input type="checkbox"/>ない(行わない理由を下欄に記入)</p> <p>(開催当日の人員配置について、検討する余地がある、また当日、滞りなく実施する為に、明確な実施要領等を作成する必要がある。)</p>

【総コスト指標】 (単位:円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度(計画)
事業費(決算額) ①	1,796,412	1,803,658	
当初予算額	1,804,000	1,814,000	1,822,850
決算額	1,796,412	1,803,658	
執行率	99.58%	99.43%	
人件費合計 ②	3,551,200	3,435,400	3,281,000
一般職員工数(人/年)	0.386	0.386	0.386
一般職員人件費	3,551,200	3,435,400	3,281,000
再任用職員工数(人/年)	0.000	0.000	0.000
再任用職員人件費	0	0	0
嘱託職員人件費	0	0	0
歳出計 A(①+②)	5,347,612	5,239,058	5,103,850
国・都支出金の合計 ③	0	0	0
使用料・手数料の合計 ④	0	0	0
その他の合計 ⑤	0	0	0
歳入合計 B(③+④+⑤)	0	0	0

(単位:円)

純支出額 C(A-B)	5,347,612	5,239,058	5,103,850
市民1人当たりコスト (C/人口)	48.038	46.853	45.057
指標1当たりコスト (C/成果実績値)	594,179.111	582,117.556	567,094.444
指標2当たりコスト (C/成果実績値)	56,913.708	55,948.932	51,038.500

【指標データ】

		指標	単位	値	21年度	22年度	23年度	
指標1	活動量	名称	就学時健診対象校数	校	目標値	9	9	9
		説明	就学時健診の実施対象となる校数		実績値	9	9	
指標1	成果	名称	就学時健診実施校数	校	目標値	9	9	9
		説明	就学時健診を実施した校数		実績値	9	9	
指標2	活動量	名称	受診者数	人	目標値	878	833	850
		説明	就学時健診を受診した就学前児童の人数		実績値	825	780	
指標2	成果	名称	受診率	%	目標値	100	100	100
		説明	就学時健診を受診した就学前児童の割合		実績値	93.96	93.64	

【第1次評価】(事業担当課による分析・自主評価)

事業概要、予算概要、総コスト指標、指標データを踏まえた自主評価	
法的に実施を義務付けられており、入学後安心して学校生活を送るために必要な事業である。実施方法については、当日の実施要領の作成や人員配置の見直しを検討する余地がある。また受診動機については、引き続き多くの就学前児童に受診してもらおう促していく。	
今後の方針 (活動量:平成24年度の活動量の方針) (予算:平成23年度と比較した平成24年度の予算の方針)	
活動量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 委託化 <input type="checkbox"/> 協働化 <input type="checkbox"/> 情報化
予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止

事務事業名	学校災害応急貸付事業	事務事業No.	296
【基本情報】			
実施義務	<input type="checkbox"/> 義務事業（法律で実施が義務づけられている） <input checked="" type="checkbox"/> 任意事業（ <input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例 <input checked="" type="checkbox"/> 規則・規程・要綱 <input type="checkbox"/> なし）		
根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> あり（小金井市学校災害応急資金貸付要綱） <input type="checkbox"/> なし		
種別	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> 窓口ソフト <input type="checkbox"/> 施設の管理・運営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> その他		
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 全部直営 <input type="checkbox"/> 一部委託（ <input type="checkbox"/> 公共的団体 <input type="checkbox"/> 民間） <input type="checkbox"/> 全部委託（ <input type="checkbox"/> 公共的団体 <input type="checkbox"/> 民間）		
共通課題	<input type="checkbox"/> 環境関連 <input type="checkbox"/> 男女共同参画関連 <input type="checkbox"/> 情報化関連 <input checked="" type="checkbox"/> 市民協働関連		
担当部	学校教育部	担当課	学務課
		担当課長	前島 賢

【総合計画における位置づけ】

レベル1(柱)	レベル2(施策)	レベル3(施策)	レベル4(施策)
豊かな人間性をほぐむふれあいのあるまち(文化と教育)	学校教育	なし	なし

【事業概要】

目的 (何のために)	学校管理下で児童生徒が災害を受けた場合において、一時的に多額の医療費等を要する保護者に対し、応急資金の貸付を行うことにより、安心した医療機関への受診を可能とする。
対象 (誰・何を対象に)	市立小・中学校に在籍する児童生徒の保護者
手段・方法 (内容、やり方等)	入院等一時的に多額の医療費等を要する保護者からの申請により貸し付ける
活動実績 (事業の結果等)	<p>平成22年度の本事務事業の目標は何か。 <input checked="" type="checkbox"/>目標がある(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/>目標がない(ない理由を下欄に記入)</p> <p>(制度を周知するとともに、必要な保護者がいれば利用してもらう。)</p> <p>平成22年度の本事務事業の目標は達成できたか。 <input type="checkbox"/>達成できた(具体的内容を下欄に記入) <input checked="" type="checkbox"/>達成できなかった(できなかった理由を下欄に記入)</p> <p>(該当案件がなかったため。)</p> <p>平成22年度の事業の結果等(具体的内容を下欄に記入)</p> <p>(養護教諭から相談があった案件について、制度の案内をしたが、結果利用はしなかった。)</p>
見直し実績 (事業の改善、実施方法の見直し等)	<p>事業開始から現在までに実施方法の見直し等を行っているか。 <input type="checkbox"/>行っている(具体的内容を下欄に記入) <input checked="" type="checkbox"/>行っていない(行っていない理由を下欄に記入)</p> <p>(失業等により家計の急変が生じる家庭もある。よって制度としては継続していくべきである。)</p> <p>本事務事業に課題・問題点はあるか。 <input checked="" type="checkbox"/>ある(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/>ない</p> <p>(相談があれば保護者へ周知するのみであり、広くかつ明確な周知がされていない。)</p> <p>課題・問題点に対して見直しを行う必要があるか。 <input checked="" type="checkbox"/>ある <input type="checkbox"/>ない(行わない理由を下欄に記入)</p> <p>一課題・問題点を見直す具体的手法は何か。(選択し具体的内容を下欄に記入、複数選択可) <input checked="" type="checkbox"/>庁内検討 <input type="checkbox"/>市民協働 <input type="checkbox"/>外部委託 <input type="checkbox"/>指定管理者 <input type="checkbox"/>その他</p> <p>(保護者への明確な周知はされていないため、周知方法について検討する余地がある。)</p>

【総コスト指標】

(単位:円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度(計画)
事業費(決算額) ①	0	0	
当初予算額	100,000	100,000	100,000
決算額	0	0	
執行率	0.00%	0.00%	
人件費合計 ②	0	8,900	0
一般職員工数(人/年)	0.000	0.001	0.000
一般職員人件費	0	8,900	0
再任用職員工数(人/年)	0.000	0.000	0.000
再任用職員人件費	0	0	0
嘱託職員人件費	0	0	0
歳出計 A(①+②)	0	8,900	100,000
国・都支出金の合計 ③	0	0	0
使用料・手数料の合計 ④	0	0	0
その他の合計 ⑤	0	0	0
歳入合計 B(③+④+⑤)	0	0	0

(単位:円)

純支出額 C(A-B)	0	8,900	100,000
市民1人当たりコスト (C/人口)	0.000	0.080	0.883
指標1当たりコスト (C/成果実績値)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
指標2当たりコスト (C/成果実績値)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

【指標データ】

		指標	単位	値	21年度	22年度	23年度	
指標1	活動量	名称	一時的に多額の医療費等を要する保護者への案内件数	件	目標値	0	1	1
		説明	一時的に多額の医療費等を要する保護者へ制度の案内をする		実績値	0	1	
	成果	名称	制度利用の件数	件	目標値	0	0	0
		説明	実際に制度を利用した件数		実績値	0	0	
指標2	活動量	名称			目標値			
		説明			実績値			
	成果	名称			目標値			
		説明			実績値			

【第1次評価】(事業担当課による分析・自主評価)

事業概要、予算概要、総コスト指標、指標データを踏まえた自主評価	
他の制度等によって補完されている場合が多く、一時的な多額の医療費負担は減少しつつあるものと考えているが、一方で現在の社会情勢により、家計の急変が生じる家庭も少なくない。よって制度としては継続していくべきである。一方、周知方法については、検討の余地がある。	
今後の方針（活動量：平成24年度の活動量の方針）（予算：平成23年度と比較した平成24年度の予算の方針）	
活動量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 委託化 <input type="checkbox"/> 協働化 <input type="checkbox"/> 情報化
予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止

事務事業名	定期健診事業	事務事業No.	747
【基本情報】			
実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 義務事業 (法律で実施が義務づけられている) <input type="checkbox"/> 任意事業 (<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例 <input type="checkbox"/> 規則・規程・要綱 <input type="checkbox"/> なし)		
根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> あり (学校保健安全法、学校保健安全法施行規則) <input type="checkbox"/> なし		
種別	<input type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> 窓口ソフト <input type="checkbox"/> 施設の管理・運営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> その他		
実施形態	<input type="checkbox"/> 全部直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 (<input checked="" type="checkbox"/> 公共的団体 <input checked="" type="checkbox"/> 民間) <input type="checkbox"/> 全部委託 (<input type="checkbox"/> 公共的団体 <input type="checkbox"/> 民間)		
共通課題	<input type="checkbox"/> 環境関連 <input type="checkbox"/> 男女共同参画関連 <input type="checkbox"/> 情報化関連 <input type="checkbox"/> 市民協働関連		
担当部	学校教育部	担当課	学務課
		担当課長	前島 賢

【総合計画における位置づけ】

レベル1(柱)	レベル2(施策)	レベル3(施策)	レベル4(施策)
豊かな人間性をほぐむふれあいのあるまち(文化と教育)	学校教育	教育内容・方法の充実	児童生徒の心と体のケア

【事業概要】

目的 (何のために)	児童生徒の心身の健康の保持増進を図り、児童生徒の安心かつ充実した学校生活を実現させるため
対象 (誰・何を対象に)	市立小・中学校に在籍する児童生徒
手段・方法 (内容、やり方等)	学校において児童生徒に対し、各学校医・学校歯科医や委託業者、養護教諭等が定期健診の各項目についてそれぞれ診察、検査を行う。
活動実績 (事業の結果等)	<p>平成22年度の本事務事業の目標は何か。 <input checked="" type="checkbox"/>目標がある(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/>目標がない(ない理由を下欄に記入)</p> <p>(受診率を100%に近づけ、疾病異常や欠席があった場合は、受診を促すことで、児童生徒が健康で安心した学校生活を過ごせるようにする。)</p> <p>平成22年度の本事務事業の目標は達成できたか。 <input checked="" type="checkbox"/>達成できた(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/>達成できなかった(できなかった理由を下欄に記入)</p> <p>(受診率が90%超であり、受診も促すことができたため。)</p> <p>平成22年度の事業の結果等(具体的内容を下欄に記入) 内科、耳鼻咽喉科、眼科、歯科については、各学校医・学校歯科医が診察し、尿・ぎょう虫検査、心臓・結核検査は委託業者が行い、視力・聴力検査は、養護教諭等が行い、それぞれの疾病異常があった児童生徒へは、結果を渡し、受診を促した。また欠席した児童生徒にも、受診を促すよう促した。</p>
見直し実績 (事業の改善、実施方法の見直し等)	<p>事業開始から現在までに実施方法の見直し等を行っているか。 <input checked="" type="checkbox"/>行っている(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/>行っていない(行っていない理由を下欄に記入)</p> <p>(法改正があった際に、実施方法の見直しを行っている。)</p> <p>本事務事業に課題・問題点はあるか。 <input type="checkbox"/>ある(具体的内容を下欄に記入) <input checked="" type="checkbox"/>ない</p> <p>(現在のところ法改正はなく、事業としても滞りなく行えているため。)</p> <p>課題・問題点に対して見直しを行う必要があるか。 <input type="checkbox"/>ある 一課題・問題点を見直す具体的手法は何か。(選択し具体的内容を下欄に記入、複数選択可) <input type="checkbox"/>庁内検討 <input type="checkbox"/>市民協働 <input type="checkbox"/>外部委託 <input type="checkbox"/>指定管理者 <input type="checkbox"/>その他 <input checked="" type="checkbox"/>ない(行わない理由を下欄に記入)</p> <p>(現在のところ法改正はなく、事業としても滞りなく行えているため。)</p>

【総コスト指標】 (単位:円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度(計画)	
歳出	事業費(決算額) ①	14,750,680	14,913,630	
	当初予算額	15,528,000	15,567,000	16,431,550
	決算額	14,750,680	14,913,630	
	執行率	94.99%	95.80%	
	人件費合計 ②	1,757,200	1,699,900	1,623,500
	一般職員工数(人/年)	0.191	0.191	0.191
	一般職員人件費	1,757,200	1,699,900	1,623,500
	再任用職員工数(人/年)	0.000	0.000	0.000
	再任用職員人件費	0	0	0
	嘱託職員人件費	0	0	0
歳出計 A(①+②)	16,507,880	16,613,530	18,055,050	
歳入	国・都支出金の合計 ③	0	0	0
	使用料・手数料の合計 ④	0	0	0
	その他の合計 ⑤	0	0	0
	歳入合計 B(③+④+⑤)	0	0	0

(単位:円)

純支出額 C(A-B)	16,507,880	16,613,530	18,055,050
市民1人当たりコスト (C/人口)	148.291	148.574	159.391
指標1当たりコスト (C/成果実績値)	166,443.638	167,779.539	180,550.500
指標2当たりコスト (C/成果実績値)	1,542.504	1,587.229	1,805.505

【指標データ】

		指標	単位	値	21年度	22年度	23年度	
指標1	活動量	名称	市立小・中学校に在籍する児童生徒数	人	目標値	7404	7478	7470
		説明	5月1日現在に在籍していた児童生徒の人数		実績値	7404	7478	
	成果	名称	定期健診受診者率	%	目標値	100	100	100
		説明	定期健診を受診した割合		実績値	99.18	99.02	
指標2	活動量	名称	疾病異常延べ数	人	目標値	10702	10467	10000
		説明	各検診項目の疾病異常者数を全て足した人数		実績値	10702	10467	
成果	名称	疾病異常結果通知数	通	目標値	10702	10467	10000	
	説明	疾病異常により受診を促すために結果を通知した通知数		実績値	10702	10467		

【第1次評価】(事業担当課による分析・自主評価)

事業概要、予算概要、総コスト指標、指標データを踏まえた自主評価	
法的に義務付けられており、必要な事業である。受診率もほぼ100%であり、どの内容の検診もスムーズに行われている。今後も継続し、疾病異常があった児童生徒には、受診を促し、学校生活を安心して送るために、児童生徒の心身の健康の保持増進を図る。	
今後の方針 (活動量:平成24年度の活動量の方針) (予算:平成23年度と比較した平成24年度の予算の方針)	
活動量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 委託化 <input type="checkbox"/> 協働化 <input type="checkbox"/> 情報化
予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止

平成23年度事務事業評価シート① (評価対象:平成22年度事業)

事務事業名	学校環境衛生検査事業	事務事業No.	748
【基本情報】			
実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 義務事業 (法律で実施が義務づけられている) <input type="checkbox"/> 任意事業 (口法律 口条例 口規則・規程・要綱 口なし)		
根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> あり (学校保健安全法、文部科学省令) <input type="checkbox"/> なし		
種別	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> 窓ソフト <input type="checkbox"/> 施設の管理・運営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> その他		
実施形態	<input type="checkbox"/> 全部直営 <input type="checkbox"/> 一部委託(口公共的団体 口民間) <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託(■公共的団体 ■民間)		
共通課題	<input type="checkbox"/> 環境関連 <input type="checkbox"/> 男女共同参画関連 <input type="checkbox"/> 情報化関連 <input checked="" type="checkbox"/> 市民協働関連		
担当部	学校教育部	担当課	学務課
		担当課長	前島 賢

【総合計画における位置づけ】

レベル1(柱)	レベル2(施策)	レベル3(施策)	レベル4(施策)
豊かな人間性をはぐくむ れあいのあるまち(文化と教育)	学校教育	教育内容・方法の充実	児童生徒の心と体のケア

【事業概要】

目的 (何のために)	児童生徒の健康を保持増進し、健康的で快適な学習環境や学習能率の向上を図るため
対象 (誰・何を対象に)	市立小・中学校に在籍する児童生徒
手段・方法 (内容、やり方等)	学校環境衛生基準による環境衛生検査(照度・プール水質検査、教室環境等)を実施し、適切な衛生管理を行う
活動実績 (事業の結果等)	<p>平成22年度の本事務事業の目標は何か。 <input checked="" type="checkbox"/>目標がある(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/>目標がない(ない理由を下欄に記入)</p> <p>(学校環境衛生基準による環境衛生検査(照度・プール水質検査、教室空気環境調査等)を実施する。)</p> <p>平成22年度の本事務事業の目標は達成できたか。 <input checked="" type="checkbox"/>達成できた(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/>達成できなかった(できなかった理由を下欄に記入)</p> <p>(全て実施できたため。)</p> <p>平成22年度の事業の結果等(具体的内容を下欄に記入) 学校薬剤師に依頼している業務については、年間予定計画を確認し、照度検査、給食室検査や暖房器具使用時期に教室内の二酸化炭素を測定するため、検知管を購入し、検査等を実施した。また委託業者にはプール水質検査、ダニアレルゲン検査、教室等空気環境調査(ホルムアルデヒド等)を委託し、実施した。</p>
見直し実績 (事業の改善、実施方法の見直し等)	<p>事業開始から現在までに実施方法の見直し等を行っているか。 <input checked="" type="checkbox"/>行っている(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/>行っていない(行っていない理由を下欄に記入)</p> <p>(学校薬剤師との相談により、検査内容の精度を実情に合わせて変更したり、教室等の空気環境調査については、検査箇所について検討したりした。)</p> <p>本事務事業に課題・問題点はあるか。 <input type="checkbox"/>ある(具体的内容を下欄に記入) <input checked="" type="checkbox"/>ない</p> <p>(現在のところは問題等はない。)</p> <p>課題・問題点に対して見直しを行う必要があるか。 <input checked="" type="checkbox"/>ある 　→課題・問題点を見直す具体的手法は何か。(選択し具体的内容を下欄に記入、複数選択可) <input checked="" type="checkbox"/>庁内検討 <input type="checkbox"/>市民協働 <input type="checkbox"/>外部委託 <input type="checkbox"/>指定管理者 <input type="checkbox"/>その他 <input type="checkbox"/>ない(行わない理由を下欄に記入)</p> <p>工事等で学校の状況が変化することもあり、検査方法、内容を効果的に行うため、次年度以降に向けて毎年検討する必要がある、必要があれば検査用の物品購入内容を変更したり、計画的に購入したりする必要がある。</p>

平成23年度事務事業評価シート② (評価対象:平成22年度事業)

【総コスト指標】

(単位:円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度(計画)
事業費(決算額) ①	1,448,411	1,378,377	
当初予算額	1,456,000	1,480,000	1,357,000
決算額	1,448,411	1,378,377	
執行率	99.48%	93.13%	
人件費合計 ②	395,600	462,800	442,000
一般職員工数(人/年)	0.043	0.052	0.052
一般職員人件費	395,600	462,800	442,000
再任用職員工数(人/年)	0.000	0.000	0.000
再任用職員人件費	0	0	0
嘱託職員人件費	0	0	0
歳出計 A(①+②)	1,844,011	1,841,177	1,799,000
国・都支出金の合計 ③	0	0	0
使用料・手数料の合計 ④	0	0	0
その他の合計 ⑤	0	0	0
歳入合計 B(③+④+⑤)	0	0	0

(単位:円)

純支出現 C(A-B)	1,844,011	1,841,177	1,799,000
市民1人当たりコスト (C/人口)	16,565	16,466	15,882
指標1当たりコスト (C/成果実績値)	131,715.071	131,512.643	#DIV/0!
指標2当たりコスト (C/成果実績値)	614,670.333	368,235.400	359,800,000

【指標データ】

		指標	単位	値	21年度	22年度	23年度	
指標1	活動量	名称	学校薬剤師の検査校数	校	目標値	14	14	14
		説明	毎月1回以上学校薬剤師が実施した検査の対象校数		実績値	14	14	
	成果	名称	検査校数	校	目標値	14	14	
		説明	検査内容が全てできた校数		実績値	14	14	
指標2	活動量	名称	教室等空気環境調査	校	目標値	3	5	5
		説明	教室等の空気環境(ホルムアルデヒド、VOC)の調査を行った校数		実績値	3	5	
	成果	名称	ホルムアルデヒド、VOC不検出の校数	校	目標値	3	5	5
		説明	ホルムアルデヒド、VOCが検出されなかった校数		実績値	3	5	

【第1次評価】(事業担当課による分析・自主評価)

<p>事業概要、予算概要、総コスト指標、指標データを踏まえた自主評価</p> <p>法的に義務付けられており、必要な事業である。文部科学省による「学校環境衛生マニュアル」に基づいた内容で行っているが、検査箇所等については、予算も限られているため、学校の状況に応じて、引き続き弾力的に検討、対応し、効果的に行えるようにしたい。</p>	
<p>今後の方針 (活動量:平成24年度の活動量の方針) (予算:平成23年度と比較した平成24年度の予算の方針)</p>	
活動量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 委託化 <input type="checkbox"/> 協働化 <input type="checkbox"/> 情報化
予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止

事務事業名	学校災害賠償補償事務	事務事業No.	749
【基本情報】			
実施義務	<input type="checkbox"/> 義務事業（法律で実施が義務づけられている） <input checked="" type="checkbox"/> 任意事業（ <input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例 <input type="checkbox"/> 規則・規程・要綱 <input checked="" type="checkbox"/> なし）		
根拠法令等	<input type="checkbox"/> あり（ ） <input checked="" type="checkbox"/> なし		
種別	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> 窓ソフト <input type="checkbox"/> 施設の管理・運営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> その他		
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 全部直営 <input type="checkbox"/> 一部委託（ <input type="checkbox"/> 公共的団体 <input type="checkbox"/> 民間） <input type="checkbox"/> 全部委託（ <input type="checkbox"/> 公共的団体 <input type="checkbox"/> 民間）		
共通課題	<input type="checkbox"/> 環境関連 <input type="checkbox"/> 男女共同参画関連 <input type="checkbox"/> 情報化関連 <input checked="" type="checkbox"/> 市民協働関連		
担当部	学校教育部	担当課	学務課
		担当課長	前島 賢

【総合計画における位置づけ】

レベル1(柱)	レベル2(施策)	レベル3(施策)	レベル4(施策)
豊かな人間性をはぐくむふれあいのあるまち(文化と教育)	学校教育	教育内容・方法の充実	児童生徒の心と体のケア

【事業概要】

目的 (何のために)	学校管理下での災害、施設や業務遂行上の過失に起因する事故で、学校災害共済給付金事業(日本スポーツ振興センター)で補えない、予測できなかった広範かつ高額な損害を伴う場合に対応するため。
対象 (誰・何を対象に)	学校事故等において本市に賠償責任が生じた場合の被害者
手段・方法 (内容、やり方等)	全国市長会に加入手続、共済掛金の納入する。また学校で発生した災害に対し、該当する案件について請求手続をする。
活動実績 (事業の結果等)	<p>平成22年度の本事務事業の目標は何か。 <input checked="" type="checkbox"/>目標がある(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/>目標がない(ない理由を下欄に記入)</p> <p>(全国市長会に加入手続、共済掛金の納入する。また学校管理下で発生した災害について、該当する案件に対して請求手続をする。)</p> <p>平成22年度の本事務事業の目標は達成できたか。 <input checked="" type="checkbox"/>達成できた(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/>達成できなかった(できなかった理由を下欄に記入)</p> <p>(全国市長会に加入手続、共済掛金を納入できた。なお、賠償補償の該当案件はなく、請求手続はなかった。)</p> <p>平成22年度の事業の結果等(具体的内容を下欄に記入)</p> <p>(全国市長会に加入手続、共済掛金を納入した。)</p>
見直し実績 (事業の改善、実施方法の見直し等)	<p>事業開始から現在までに実施方法の見直し等を行っているか。 <input checked="" type="checkbox"/>行っている(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/>行っていない(行っていない理由を下欄に記入)</p> <p>(賠償補償内容により、保険金額を見直している。)</p> <p>本事務事業に課題・問題点はあるか。 <input type="checkbox"/>ある(具体的内容を下欄に記入) <input checked="" type="checkbox"/>ない</p> <p>市の賠償責任が問われた場合の損害賠償金の補てんができ、事故解決にも結び付くため、加入することは妥当であるため。また契約している賠償補償内容で、現在のところ対応できているため。</p> <p>課題・問題点に対して見直しを行う必要があるか。 <input type="checkbox"/>ある →課題・問題点を見直す具体的手法は何か。(選択し具体的内容を下欄に記入、複数選択可) <input type="checkbox"/>庁内検討 <input type="checkbox"/>市民協働 <input type="checkbox"/>外部委託 <input type="checkbox"/>指定管理者 <input type="checkbox"/>その他 <input checked="" type="checkbox"/>ない(行わない理由を下欄に記入)</p> <p>(契約している賠償補償内容で、現在のところ対応できているため。)</p>

【総コスト指標】

(単位:円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度(計画)	
歳出	事業費(決算額) ①	457,957	466,374	
	当初予算額	459,000	467,000	471,000
	決算額	457,957	466,374	
	執行率	99.77%	99.87%	
	人件費合計 ②	1,196,000	80,100	76,500
	一般職員工数(人/年)	0.130	0.009	0.009
	一般職員人件費	1,196,000	80,100	76,500
	再任用職員工数(人/年)	0.000	0.000	0.000
	再任用職員人件費	0	0	0
	嘱託職員人件費	0	0	0
歳出計 A(①+②)	1,653,957	546,474	547,500	
歳入	国・都支出金の合計 ③	0	0	0
	使用料・手数料の合計 ④	0	0	0
	その他の合計 ⑤	451,000	1,000	1,000
	歳入合計 B(③+④+⑤)	451,000	1,000	1,000

(単位:円)

純支出額 C(A-B)	1,202,957	545,474	546,500
市民1人当たりコスト (C/人口)	10.806	4.878	4.825
指標1当たりコスト (C/成果実績値)	1,202,957.000	#DIV/0!	#DIV/0!
指標2当たりコスト (C/成果実績値)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

【指標データ】

指標	活動量	名称	単位	値	21年度	22年度	23年度
					目標値	実績値	
指標1	活動量	前年度5月1日現在の児童生徒数	人	目標値	7290	7424	7481
		加入手続に必要な数		実績値	7290	7424	
指標2	成果	支払件数	件	目標値	1	0	0
		請求をし、支払った件数		実績値	1	0	
指標2	活動量			目標値			
				実績値			
指標2	成果			目標値			
				実績値			

【第1次評価】(事業担当課による分析・自主評価)

事業概要、予算概要、総コスト指標、指標データを踏まえた自主評価	
学校災害共済給付金事業(日本スポーツ振興センター)の上乗せ保険として設計されたものであり、この保険内容で補えない、予測できなかった広範かつ高額な損害を伴う事故が発生し、市の賠償責任が問われた場合の損害賠償金の補てんに対応できる保険であるため、加入することは妥当である。また契約している賠償補償内容で、現在のところ対応できている。必要な事務事業として、引き続き継続していきたい。	
今後の方針(活動量:平成24年度の活動量の方針)(予算:平成23年度と比較した平成24年度の予算の方針)	
活動量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 委託化 <input type="checkbox"/> 協働化 <input type="checkbox"/> 情報化
予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止

事務事業名	語学指導事業	事務事業No.	250
【基本情報】			
実施義務	<input type="checkbox"/> 義務事業（法律で実施が義務づけられている） <input checked="" type="checkbox"/> 任意事業（ <input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例 <input checked="" type="checkbox"/> 規則・規程・要綱 <input type="checkbox"/> なし）		
根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> あり（外国籍等の児童及び生徒の日本語指導等実施要綱） <input type="checkbox"/> なし		
種別	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> 窓ソフト <input type="checkbox"/> 施設の管理・運営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> その他		
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 全部直営 <input type="checkbox"/> 一部委託（ <input type="checkbox"/> 公共的団体 <input type="checkbox"/> 民間） <input type="checkbox"/> 全部委託（ <input type="checkbox"/> 公共的団体 <input type="checkbox"/> 民間）		
共通課題	<input type="checkbox"/> 環境関連 <input type="checkbox"/> 男女共同参画関連 <input type="checkbox"/> 情報化関連 <input type="checkbox"/> 市民協働関連		
担当部	学校教育部	担当課	指導室
		担当課長	豊岡 弘敏

【総合計画における位置づけ】

レベル1(柱)	レベル2(施策)	レベル3(施策)	レベル4(施策)
豊かな人間性をはぐむふれあいのあるまち(文化と教育)	学校教育	教育内容・方法の充実	時代に即した教育内容の充実

【事業概要】

目的 (何のために)	①日本語指導補助員派遣事業 ②外国人英語指導委託事業
対象 (誰・何を対象に)	①外国籍等の児童生徒 ②小学校第5・6学年児童及び中学校生徒
手段・方法 (内容、やり方等)	①学校長からの要請に応じて指導員を派遣し、初期の日本語指導等を実施する。 ②学校に外国人英語指導員を派遣し、国際理解教育の充実を目指す。
活動実績 (事業の結果等)	平成22年度の本事務事業の目標は何か。 <input checked="" type="checkbox"/> 目標がある(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/> 目標がない(ない理由を下欄に記入) (①日本語指導の充実 ②コミュニケーション能力の向上) 平成22年度の本事務事業の目標は達成できたか。 <input checked="" type="checkbox"/> 達成できた(具体的内容を下欄に記入) <input checked="" type="checkbox"/> 達成できなかった(できなかった理由を下欄に記入) (①適切な日本語指導補助ができた ②委託業者の業務に対する認識の低さが目立った) 平成22年度の事業の結果等(具体的内容を下欄に記入) (①在籍している学級の教員の負担軽減が図れた ②コミュニケーション能力の向上が図れた)
見直し実績 (事業の改善、実施方法の見直し等)	事業開始から現在までに実施方法の見直し等を行っているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 行っている(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/> 行っていない(行っていない理由を下欄に記入) (外国人英語指導委託の業者選定方法(入札方式やプロポーザル方式の検討)) 本事務事業に課題・問題点はあるか。 <input checked="" type="checkbox"/> ある(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/> ない (外国人英語指導委託事業の指導員派遣形態(業務委託方式、直接雇用方式等)) 課題・問題点に対して見直しを行う必要があるか。 <input checked="" type="checkbox"/> ある →課題・問題点を見直す具体的手法は何か。(選択し具体的内容を下欄に記入、複数選択可) <input checked="" type="checkbox"/> 庁内検討 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 外部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> ない(行わない理由を下欄に記入) (予算面を考慮しながらより良い派遣形態を模索する)

【総コスト指標】

(単位:円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度(計画)	
歳出	事業費(決算額) ①	10,691,713	7,565,383	
	当予算額	11,130,000	10,657,000	10,747,000
	決算額	10,691,713	7,565,383	
	執行率	96.06%	70.99%	
	人件費合計 ②	579,600	560,700	535,500
	一般職員工数(人/年)	0.063	0.063	0.063
	一般職員人件費	579,600	560,700	535,500
	再任用職員工数(人/年)	0.000	0.000	0.000
	再任用職員人件費	0	0	0
	嘱託職員人件費	0	0	0
歳出計 A(①+②)	11,271,313	8,126,083	11,282,500	
歳入	国・都支出金の合計 ③	0	0	0
	使用料・手数料の合計 ④	0	0	0
	その他の合計 ⑤	0	0	0
	歳入合計 B(③+④+⑤)	0	0	0

(単位:円)

純支出額 C(A-B)	11,271,313	8,126,083	11,282,500
市民1人当たりコスト (C/人口)	101.251	72.671	99.603
指標1当たりコスト (C/成果実績値)	12,692.920	10,777.298	12,705.518
指標2当たりコスト (C/成果実績値)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

【指標データ】

指標	活動量	名称	単位	値	目標値	21年度	22年度	23年度
						実績値	実績値	実績値
指標1	活動量	名称	日本語指導補助員数	人	目標値	3	3	3
		説明	日本語指導補助員の派遣を継続的なものとする事ができた		実績値	3	3	
	成果	名称	年間の日本語指導時間総数	時間	目標値	916	876	888
		説明	できるだけ多くの日本語指導をすることができた		実績値	888	754	
指標2	活動量	名称			目標値			
		説明			実績値			
	成果	名称			目標値			
		説明			実績値			

【第1次評価】(事業担当課による分析・自主評価)

事業概要、予算概要、総コスト指標、指標データを踏まえた自主評価	
①日本語指導については、概ね学校の要請に沿った派遣・指導が行なえているのが現状であり、在籍している学級の教員の負担軽減には非常に役立っている。ただし、年度によって必要とされる児童・生徒の数に増減があるため、予算を立てることが難しい。②外国人英語指導業務については、業者の選定方法を毎年競争入札でおこなってきた。しかし、近年、契約単価が下がるとともに業者の業務に対する認識の低さも顕著になっており、学校の外国語教育に支障をきたすようになった。したがって平成23年度の委託業者の選定にあたってはプロポーザル方式を採用した。また業務委託という方式が見方によっては労働者派遣法に抵触する可能性がある。今後はこの点についても検討していく必要がある。	
今後の方針(活動量:平成24年度の活動量の方針)(予算:平成23年度と比較した平成24年度の予算の方針)	
活動量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 委託化 <input type="checkbox"/> 協働化 <input type="checkbox"/> 情報化
予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止

事務事業名	情報教育・コンピュータ指導事業	事務事業No.	252
【基本情報】			
実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 義務事業（法律で実施が義務づけられている） <input type="checkbox"/> 任意事業（ <input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例 <input type="checkbox"/> 規則・規程・要綱 <input type="checkbox"/> なし）		
根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> あり（教育基本法、学校教育法、学校教育法施行例、学校教育法施行規則、学習指導要領） <input type="checkbox"/> なし		
種別	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> 窓ソフト <input type="checkbox"/> 施設の管理・運営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> その他		
実施形態	<input type="checkbox"/> 全部直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託（ <input type="checkbox"/> 公共的団体 <input checked="" type="checkbox"/> 民間） <input type="checkbox"/> 全部委託（ <input type="checkbox"/> 公共的団体 <input type="checkbox"/> 民間）		
共通課題	<input type="checkbox"/> 環境関連 <input type="checkbox"/> 男女共同参画関連 <input checked="" type="checkbox"/> 情報化関連 <input type="checkbox"/> 市民協働関連		
担当部	学校教育部	担当課	指導室
		担当課長	豊岡弘敏

【総合計画における位置づけ】

レベル1(柱)	レベル2(施策)	レベル3(施策)	レベル4(施策)
豊かな人間性をはぐくむふれあいのあるまち(文化と教育)	学校教育	教育内容・方法の充実	時代に即した教育内容の充実

【事業概要】

目的 (何のために)	情報教育の充実に資するため、教職員のコンピュータ技能の向上を目指す
対象 (誰・何を対象に)	市立小・中学校教職員
手段・方法 (内容、やり方等)	教職員対象の研修会の実施や、コンピュータ取扱能力の高いアドバイザーを教職員の助手として活用する また、市立小中学校配置のコンピュータの活用にあたり、保守点検等の委託を行う
活動実績 (事業の結果等)	<p>平成22年度の本事務事業の目標は何か。 <input checked="" type="checkbox"/>目標がある(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/>目標がない(ない理由を下欄に記入)</p> <p>(市立小中学校での情報教育を充実させるため、研修会や情報アドバイザーの活用等を通して、児童生徒の学習指導にあたる教職員のコンピュータ技能の向上を図る)</p> <p>平成22年度の本事務事業の目標は達成できたか。 <input checked="" type="checkbox"/>達成できた(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/>達成できなかった(できなかった理由を下欄に記入)</p> <p>(市立小中学校にて、電子黒板やコンピュータを活用した授業を実施した)</p> <p>平成22年度の事業の結果等(具体的内容を下欄に記入)</p> <p>研修会の実施：平成22年7月21日～平成22年7月27日土日を除く5日間 (情報教育アドバイザーの配置：小中学校全校、年間370時間 市立小中学校のコンピュータの保守点検等の業務委託)</p>
見直し実績 (事業の改善、実施方法の見直し等)	<p>事業開始から現在までに実施方法の見直し等を行っているか。 <input checked="" type="checkbox"/>行っている(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/>行っていない(行っていない理由を下欄に記入)</p> <p>(ここ数年、情報アドバイザーやコンピュータ管理委託業務について、学校からの活動の需要が高まっており、実状に見合った予算額の配分を検討している)</p> <p>本事務事業に課題・問題点はあるか。 <input checked="" type="checkbox"/>ある(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/>ない</p> <p>(高まる需要に対応できるだけの財力が乏しく、他事業との調整を図りながらの予算配分に苦慮している)</p> <p>課題・問題点に対して見直しを行う必要があるか。 <input checked="" type="checkbox"/>ある →課題・問題点を見直す具体的手法は何か。(選択し具体的内容を下欄に記入、複数選択可) <input checked="" type="checkbox"/>庁内検討 <input type="checkbox"/>市民協働 <input type="checkbox"/>外部委託 <input type="checkbox"/>指定管理者 <input type="checkbox"/>その他 <input type="checkbox"/>ない(行わない理由を下欄に記入)</p> <p>(当該事業の執行状況と、市の財政状況及び、指導室内の事業全体の在り方を考慮し、検討を行う)</p>

【総コスト指標】

(単位：円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度(計画)
事業費(決算額) ①	2,301,000	2,501,200	
当初予算額	2,301,000	2,301,000	2,645,000
決算額	2,301,000	2,501,200	
執行率	100.00%	108.70%	
人件費合計 ②	239,200	231,400	221,000
一般職員工数(人/年)	0.026	0.026	0.026
一般職員人件費	239,200	231,400	221,000
再任用職員工数(人/年)	0.000	0.000	0.000
再任用職員人件費	0	0	0
嘱託職員人件費	0	0	0
歳出計 A(①+②)	2,540,200	2,732,600	2,866,000
国・都支出金の合計 ③	0	0	0
使用料・手数料の合計 ④	0	0	0
その他の合計 ⑤	0	0	0
歳入合計 B(③+④+⑤)	0	0	0

(単位：円)

純支出額 C(A-B)	2,540,200	2,732,600	2,866,000
市民1人当たりコスト (C/人口)	22.819	24.437	25.301
指標1当たりコスト (C/成果実績値)	17,888.732	27,055.446	28,660.000
指標2当たりコスト (C/成果実績値)	8,467.333	7,385.405	#DIV/0!

【指標データ】

指標	活動量	名称	単位	値	目標値	21年度	22年度	23年度
指標1	活動量	名称	コンピュータ指導研修会の実施日数	日	目標値	5	5	5
		説明	WEBページ作成講座、インターネット入門、データベース構築講座、表計算マクロ講座等		実績値	5	5	
指標1	成果	名称	研修会参加人数	人	目標値	140	100	100
		説明	市立小中学校の全教職員のうち、希望者		実績値	142	101	
指標2	活動量	名称	情報アドバイザー配置校数	校	目標値	14	14	14
		説明	市立小中学校(小学校9校、中学校5校、全14校)		実績値	14	14	
指標2	成果	名称	情報アドバイザー実働時間数	時間	目標値	300	300	
		説明	全校の集計値による		実績値	300	370	

【第1次評価】(事業担当課による分析・自主評価)

事業概要、予算概要、総コスト指標、指標データを踏まえた自主評価	
平成22年度より国策による緊急経済対策を活用し各校の教室にICT機器が整備されたことを受け、情報機器を活用した授業が増加し、その補助活動が例年になく必要となった。 そのため、情報アドバイザー配置事業について予算規模ともに拡充を図りたいところであるが、小金井市の財政状況や指導室内の他事業の逼迫した現況があることから、今後の動向をみながら、他の事業との優先順位を考慮して、予算配分を柔軟に行うことが必要である。	
今後の方針（活動量：平成24年度の活動量の方針）（予算：平成23年度と比較した平成24年度の予算の方針）	
活動量	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 委託化 <input type="checkbox"/> 協働化 <input type="checkbox"/> 情報化
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止

【第2次評価】（他課の管理職者による評価）

1次評価及びヒアリングを踏まえた2次評価	
<p>国からの指導等により、各市が電子黒板やコンピュータなどを活用した情報教育を進めなければならないなか、日々技術革新も進む状況下では、確かにその知識や技能等を習得し向上させるためには、教員各自の取組みでは限界があり、やはりこのような事業は必要不可欠とは思われる。</p> <p>しかし、そのような状況のなかで、研修会への参加者数が減っているなど受講者である教員がこのような取組みに対して消極的なのか、はたまた既に習得済みでその必要性がないのか、などの疑問も感じられるところである。</p> <p>現在の財政状況下において、この事業を継続していくのであれば、限られた予算内で実施できるよう、既に研修等を受け習得済みの教員やコンピュータ等情報機器に精通した職員を活用して各学校内で独自研修等を行うなど、この事業のみに頼ることなく、多忙であるとは思われるが、各校においても学校側での工夫や取組等も必要かと思われる。</p> <p>またヒアリングのなかで、個人に対して委託をしているとのことであったが、そのあたりの整理も必要かと思われる。</p>	
今後の方針（活動量：平成24年度の活動量の方針）（予算：平成23年度と比較した平成24年度の予算の方針）	
活動量	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 委託化 <input type="checkbox"/> 協働化 <input type="checkbox"/> 情報化
予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止

【第3次評価】（庁内部部長職者で構成する行政評価会議による評価）

1次評価及び2次評価を踏まえた3次評価	
<p>（この欄は空欄です）</p>	
今後の方針（活動量：平成24年度の活動量の方針）（予算：平成23年度と比較した平成24年度の予算の方針）	
活動量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 委託化 <input type="checkbox"/> 協働化 <input type="checkbox"/> 情報化
予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止

事務事業名	進路指導事業	事務事業No.	253
【基本情報】			
実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 義務事業（法律で実施が義務づけられている） <input type="checkbox"/> 任意事業（ <input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例 <input type="checkbox"/> 規則・規程・要綱 <input type="checkbox"/> なし）		
根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> あり（教育基本法、学校教育法、学校教育法施行例、学校教育法施行規則、学習指導要領） <input type="checkbox"/> なし		
種別	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> 窓ソフト <input type="checkbox"/> 施設の管理・運営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> その他		
実施形態	<input type="checkbox"/> 全部直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託（ <input type="checkbox"/> 公共的団体 <input checked="" type="checkbox"/> 民間） <input type="checkbox"/> 全部委託（ <input type="checkbox"/> 公共的団体 <input type="checkbox"/> 民間）		
共通課題	<input type="checkbox"/> 環境関連 <input type="checkbox"/> 男女共同参画関連 <input type="checkbox"/> 情報化関連 <input type="checkbox"/> 市民協働関連		
担当部	学校教育部	担当課	指導室
		担当課長	豊岡弘敏

【総合計画における位置づけ】

レベル1(柱)	レベル2(施策)	レベル3(施策)	レベル4(施策)
豊かな人間性をほぐむふれあいのあるまち(文化と教育)	学校教育	教育内容・方法の充実	時代に即した教育内容の充実

【事業概要】

目的 (何のために)	生徒一人一人が主体的に進路を決定することができるよう、進路に関する図書資料等を充実させる。
対象 (誰・何を対象に)	市立中学校(全5校)
手段・方法 (内容、やり方等)	進路に関する図書資料として進路指導用図書を購入する。また、各校で進路に関する手引きを作成する。
活動実績 (事業の結果等)	<p>平成22年度の本事務事業の目標は何か。 <input checked="" type="checkbox"/>目標がある(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/>目標がない(ない理由を下欄に記入)</p> <p>(市立中学校での進路指導教育を充実させるため、各校に必要な書籍や資料を提供し、学校ごとに進路指導用資料を作成する)</p> <p>平成22年度の本事務事業の目標は達成できたか。 <input checked="" type="checkbox"/>達成できた(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/>達成できなかった(できなかった理由を下欄に記入)</p> <p>(各校配分された予算の範囲中で、進路指導資料を購入した。また、各校担当教諭出席による研修会を実施し、各校進路指導資料を作成し、生徒への指導に役立てることができた)</p> <p>平成22年度の事業の結果等(具体的内容を下欄に記入)</p> <p>研修会の実施：年6回、36人参加 (学校毎の進路用資料作成、「進路の手引き」内部印刷用消耗品配分 各校3年生生徒数による配分(一中137人、二中146人、東中89人、緑中234人、南中126人))</p>
見直し実績 (事業の改善、実施方法の見直し等)	<p>事業開始から現在までに実施方法の見直し等を行っているか。 <input checked="" type="checkbox"/>行っている(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/>行っていない(行っていない理由を下欄に記入)</p> <p>(進路指導資料の購入にあたり、書籍だけでなくソフトウェアなど、時代に即した内容となるよう、各校と調整しながら予算執行をしている)</p> <p>本事務事業に課題・問題点はあるか。 <input checked="" type="checkbox"/>ある(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/>ない</p> <p>(例年、進路指導図書購入額については、消耗品として一律に削減の方針に従い予算措置しているが、学校現場の状況にあわせ、一定額の確保が必要となっている。)</p> <p>課題・問題点に対して見直しを行う必要があるか。 <input checked="" type="checkbox"/>ある →課題・問題点を見直す具体的手法は何か。(選択し具体的内容を下欄に記入、複数選択可) <input checked="" type="checkbox"/>庁内検討 <input type="checkbox"/>市民協働 <input type="checkbox"/>外部委託 <input type="checkbox"/>指定管理者 <input type="checkbox"/>その他 <input type="checkbox"/>ない(行わない理由を下欄に記入)</p> <p>当該事業の図書購入については、児童生徒の教育資料となる図書の充実が目的である点で、文具等の消耗品購入とは性質を異にする点から、予算上一定額の確保を図ることができるよう、他事業の節減をもって充実を図る</p>

【総コスト指標】

(単位：円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度(計画)	
歳出	事業費(決算額) ①	308,891	282,992	
	当初予算額	309,000	283,000	269,000
	決算額	308,891	282,992	
	執行率	99.96%	100.00%	
	人件費合計 ②	322,000	311,500	297,500
	一般職員工数(人/年)	0.035	0.035	0.035
	一般職員人件費	322,000	311,500	297,500
	再任用職員工数(人/年)	0.000	0.000	0.000
	再任用職員人件費	0	0	0
	嘱託職員人件費	0	0	0
歳出計 A(①+②)	630,891	594,492	566,500	
歳入	国・都支出金の合計 ③	0	0	0
	使用料・手数料の合計 ④	0	0	0
	その他の合計 ⑤	0	0	0
	歳入合計 B(③+④+⑤)	0	0	0

(単位：円)

純支出額 C(A-B)	630,891	594,492	566,500
市民1人当たりコスト (C/人口)	5.667	5.317	5.001
指標1当たりコスト (C/成果実績値)	21,029.700	16,513.667	16,185.714
指標2当たりコスト (C/成果実績値)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

【指標データ】

指標	活動量	名称	単位	値	21年度	22年度	23年度	
					目標値	実績値		
指標1	活動量	名称	各校の進路指導用図書購入額合計	円	目標値	182,000	164,000	155,000
		説明	平成21年度：市立中学校にて配分 (@36,400円×5校) 平成22年度：" (@32,800円×5校)		実績値	181,375	159,437	
	成果	名称	研修会参加人数	人	目標値	30	35	35
		説明	市立中学校の進路指導担当教諭、校長、副校長等による専門研修会		実績値	30	36	
指標2	活動量	名称	各校の進路指導用資料作成費合計	円	目標値	127,000	119,000	114,000
		説明	用紙、製本テープ等 (市立中学校全5校にて第3学年の人数により配分)		実績値	127,516	130,555	
	成果	名称			目標値			
		説明			実績値			

【第1次評価】(事業担当課による分析・自主評価)

事業概要、予算概要、総コスト指標、指標データを踏まえた自主評価	
活動量	毎年、研修会の実施や、指導用図書等の購入など継続的な活動が行われている。各校とも進路指導用図書及び、資料作成に係る支出にあたり、ほぼ予算金額全額による執行を希望しており、また、内容についても、毎年その年度にあった図書を購入している。 毎年消耗品が削減される中で、各校の進路指導に係る図書及び資料作成費用も削減されており、一定額の確保を図りたいところではあるが、財政的な問題からその実現にむけて、調整が必要である。
今後の方針（活動量：平成24年度の活動量の方針）（予算：平成23年度と比較した平成24年度の予算の方針）	
活動量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 委託化 <input type="checkbox"/> 協働化 <input type="checkbox"/> 情報化
予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止

平成23年度事務事業評価シート①（評価対象：平成22年度事業）

事務事業名	副読本事業	事務事業No.	255
【基本情報】			
実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 義務事業（法律で実施が義務づけられている） <input type="checkbox"/> 任意事業（ <input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例 <input type="checkbox"/> 規則・規程・要綱 <input type="checkbox"/> なし）		
根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> あり（教育基本法、学校教育法、学校教育法施行例、学校教育法施行規則、学習指導要領） <input type="checkbox"/> なし		
種別	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> 窓ソフト <input type="checkbox"/> 施設の管理・運営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> その他		
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 全部直営 <input type="checkbox"/> 一部委託（ <input checked="" type="checkbox"/> 公共的団体 <input type="checkbox"/> 民間） <input type="checkbox"/> 全部委託（ <input type="checkbox"/> 公共的団体 <input type="checkbox"/> 民間）		
共通課題	<input checked="" type="checkbox"/> 環境関連 <input type="checkbox"/> 男女共同参画関連 <input type="checkbox"/> 情報化関連 <input type="checkbox"/> 市民協働関連		
担当部	学校教育部	担当課	指導室
		担当課長	豊岡弘敏

【総合計画における位置づけ】

レベル1(柱)	レベル2(施策)	レベル3(施策)	レベル4(施策)
豊かな人間性をはぐくむふれあいのあるまち(文化と教育)	学校教育	教育内容・方法の充実	時代に即した教育内容の充実

【事業概要】

目的 (何のために)	環境及び社会科副読本の活用により、児童・生徒の小金井に対する正しい認識と望ましい郷土愛を育てる。また、道徳副読本の活用により、道徳教育の充実を図る。
対象 (誰・何を対象に)	市立小・中学校の児童・生徒及び教職員 副読本作成については、各副読本作成委員会による(小中学校の教職員により構成される)
手段・方法 (内容、やり方等)	生活全域について学習するための教材として、環境副読本及び社会科副読本を活用し、児童・生徒が自ら学び考える教材の充実を図り、地域学習の効果を得る。 また、道徳副読本を購入し、各小中学校の授業等での活用により道徳教育を充実させる。
活動実績 (事業の結果等)	<p>平成22年度の本事務事業の目標は何か。 <input checked="" type="checkbox"/>目標がある(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/>目標がない(ない理由を下欄に記入)</p> <p>①環境副読本、「こがねい」(小学1・2年生対象)(小学3・4年生対象)(5・6年生対象)、「小金井」(中学生対象)の作成及び刊行、②社会科副読本として、「わたしたちの小金井」の作成及び刊行、③道徳副読本の購入、授業等での活用</p> <p>平成22年度の本事務事業の目標は達成できたか。 <input checked="" type="checkbox"/>達成できた(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/>達成できなかった(できなかった理由を下欄に記入)</p> <p>①環境副読本(CDROM)の作成(小学校低学年用、中学年用、高学年用、中学生用)、②社会科副読本(隔年で作成、今年度作成年度、翌年度は準備期間)、③道徳副読本の選定、購入</p> <p>平成22年度の事業の結果等(具体的内容を下欄に記入)</p> <p>(各種委員会研修会の実施：①環境教育推進委員会(年3回、参加人数54人)、②社会科副読本作成委員会(年12回、参加人数132人)、③道徳教育推進委員会(年3回、参加人数48人))</p>
見直し実績 (事業の改善、実施方法の見直し等)	<p>事業開始から現在までに実施方法の見直し等を行っているか。 <input checked="" type="checkbox"/>行っている(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/>行っていない(行っていない理由を下欄に記入)</p> <p>(環境副読本の作成(小学校低学年用、中学年用、高学年用、中学生用)にあたり、電子データ化(CDROM)を図り、印刷製本費の節約を行った。また、道徳副読本を購入し道徳教育の拡充を図った。)</p> <p>本事務事業に課題・問題点はあるか。 <input checked="" type="checkbox"/>ある(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/>ない</p> <p>平成21年度指導要領の改正に伴い、道徳副読本購入の予算措置をしているが、学校現場からは毎年全児童生徒分の購入希望があがっている。しかし、厳しい財政状況の中では、一度購入した副読本を学校にて保管し少なくとも3年間活用する方法をとっている。</p> <p>課題・問題点に対して見直しを行う必要があるか。 <input checked="" type="checkbox"/>ある →課題・問題点を見直す具体的手法は何か。(選択し具体的内容を下欄に記入、複数選択可) <input checked="" type="checkbox"/>庁内検討 <input type="checkbox"/>市民協働 <input type="checkbox"/>外部委託 <input type="checkbox"/>指定管理者 <input type="checkbox"/>その他 <input type="checkbox"/>ない(行わない理由を下欄に記入)</p> <p>道徳授業の充実については、明日の小金井教育プランに掲げている項目でもあるため、積極的に進めていきたいが、全児童生徒に対し毎年副読本を購入し付与することが難しい状況にある。よって、小金井市の財政状況を鑑み、数年に一度の購入及び学校での活用を今後も実現できるよう、財政担当課に要望を行う。</p>

平成23年度事務事業評価シート②（評価対象：平成22年度事業）

(単位：円)

		平成21年度	平成22年度	平成23年度(計画)
歳出	事業費(決算額) ①	1,640,750	2,956,067	
	当初予算額	1,701,000	4,527,000	1,696,000
	決算額	1,640,750	2,956,067	
	執行率	96.46%	65.30%	
	人件費合計 ②	469,200	453,900	433,500
	一般職員工数(人/年)	0.051	0.051	0.051
	一般職員人件費	469,200	453,900	433,500
	再任用職員工数(人/年)	0.000	0.000	0.000
	再任用職員人件費	0	0	0
	嘱託職員人件費	0	0	0
歳出計 A(①+②)	2,109,950	3,409,967	2,129,500	
歳入	国・都支出金の合計 ③	0	0	0
	使用料・手数料の合計 ④	0	0	0
	その他の合計 ⑤	0	0	0
	歳入合計 B(③+④+⑤)	0	0	0

(単位：円)

純支出額 C(A-B)	2,109,950	3,409,967	2,129,500
市民1人当たりコスト (C/人口)	18,954	30,495	18,799
指標1当たりコスト (C/成果実績値)	10,656.313	14,572.509	10,594.527
指標2当たりコスト (C/成果実績値)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

【指標データ】

		指標	単位	値	21年度	22年度	23年度
指標1	活動量	名称	各種委員会の実施	回	目標値	18	18
		説明	①環境教育推進委員会、②社会科副読本作成委員会、③道徳教育推進委員会		実績値	18	18
	成果	名称	委員会参加人数	人	目標値	201	201
		説明	①代表校長・副校長各2人、教職員7人、計11人、②代表校長・副校長各1人、教職員9人、計10人、③代表校長・副校長各1人、教職員14人、計16人(その他参加者)		実績値	198	234
指標2	活動量	名称			目標値		
		説明			実績値		
	成果	名称			目標値		
		説明			実績値		

【第1次評価】(事業担当課による分析・自主評価)

事業概要、予算概要、総コスト指標、指標データを踏まえた自主評価	
活動量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 委託化 <input type="checkbox"/> 協働化 <input type="checkbox"/> 情報化
予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止

平成23年度事務事業評価シート①（評価対象：平成22年度事業）

事務事業名	学習支援事業	事務事業No.	257
【基本情報】			
実施義務	<input type="checkbox"/> 義務事業（法律で実施が義務づけられている） <input checked="" type="checkbox"/> 任意事業（ <input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例 <input type="checkbox"/> 規則・規程・要綱 <input checked="" type="checkbox"/> なし）		
根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> あり（明日の小金井教育プラン） <input type="checkbox"/> なし		
種別	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> 窓ソフト <input type="checkbox"/> 施設の管理・運営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> その他		
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 全部直営 <input type="checkbox"/> 一部委託（ <input type="checkbox"/> 公共的団体 <input type="checkbox"/> 民間） <input type="checkbox"/> 全部委託（ <input type="checkbox"/> 公共的団体 <input type="checkbox"/> 民間）		
共通課題	<input type="checkbox"/> 環境関連 <input type="checkbox"/> 男女共同参画関連 <input type="checkbox"/> 情報化関連 <input checked="" type="checkbox"/> 市民協働関連		
担当部	学校教育部	担当課	指導室
		担当課長	豊岡 弘敏

【総合計画における位置づけ】

レベル1(柱)	レベル2(施策)	レベル3(施策)	レベル4(施策)
豊かな人間性をはぐくむふれあいのあるまち(文化と教育)	学校教育	教育内容・方法の充実	時代に即した教育内容の充実

【事業概要】

目的 (何のために)	ボランティアを活用し、学校の教育活動の支援を行い、児童・生徒の基礎学力等の定着、小・中学校における授業等の充実を図る。また、地域の教育力の活性化を図ると共に将来の学校教育を担う人材育成の機会とする。
対象 (誰・何を対象に)	・学習支援を必要とする市立小・中学校 ・大学生等
手段・方法 (内容、やり方等)	大学等と連携してボランティア説明会などに参加し、ボランティアを募集し、小・中学校へボランティア登録者の情報を提供する。
活動実績 (事業の結果等)	<p>平成22年度の本事務事業の目標は何か。 <input checked="" type="checkbox"/>目標がある(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/>目標がない(ない理由を下欄に記入)</p> <p>(大学等と連携してボランティアを活用し、学校の教育活動の支援を行い、児童・生徒の基礎学力等の定着、小・中学校における授業等の充実を図る。)</p> <p>平成22年度の本事務事業の目標は達成できたか。 <input checked="" type="checkbox"/>達成できた(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/>達成できなかった(できなかった理由を下欄に記入)</p> <p>(ボランティアを活用し、学校の教育活動の支援を行い、児童・生徒の学習や部活動等の充実を図ることができた。)</p> <p>平成22年度の事業の結果等(具体的内容を下欄に記入) 登録数 平成20年度:180名 平成21年度:128名 平成22年度:160名</p>
見直し実績 (事業の改善、実施方法の見直し等)	<p>事業開始から現在までに実施方法の見直し等を行っているか。 <input checked="" type="checkbox"/>行っている(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/>行っていない(行っていない理由を下欄に記入)</p> <p>(ボランティア登録者への謝礼支払を検討している。)</p> <p>本事務事業に課題・問題点はあるか。 <input checked="" type="checkbox"/>ある(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/>ない</p> <p>(当市では謝礼が予算化されていない。(他市では謝礼が支払われている。)</p> <p>課題・問題点に対して見直しを行う必要があるか。 <input checked="" type="checkbox"/>ある →課題・問題点を見直す具体的手法は何か。(選択し具体的内容を下欄に記入、複数選択可) <input checked="" type="checkbox"/>庁内検討 <input type="checkbox"/>市民協働 <input type="checkbox"/>外部委託 <input type="checkbox"/>指定管理者 <input type="checkbox"/>その他 <input type="checkbox"/>ない(行わない理由を下欄に記入)</p> <p>(謝礼の予算を計上できるか検討する。)</p>

平成23年度事務事業評価シート②（評価対象：平成22年度事業）

【総コスト指標】

(単位:円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度(計画)	
歳出	事業費(決算額) ①	13,200	14,400	
	当初予算額	15,000	15,000	15,000
	決算額	13,200	14,400	
	執行率	88.00%	96.00%	
	人件費合計 ②	230,000	222,500	212,500
	一般職員工数(人/年)	0.025	0.025	0.025
	一般職員人件費	230,000	222,500	212,500
	再任用職員工数(人/年)	0.000	0.000	0.000
	再任用職員人件費	0	0	0
	嘱託職員人件費	0	0	0
歳出計 A(①+②)	243,200	236,900	227,500	
歳入	国・都支出金の合計 ③	0	0	0
	使用料・手数料の合計 ④	0	0	0
	その他の合計 ⑤	0	0	0
	歳入合計 B(③+④+⑤)	0	0	0

(単位:円)

純支出額 C(A-B)	243,200	236,900	227,500
市民1人当たりコスト (C/人口)	2,185	2,119	2,008
指標1当たりコスト (C/成果実績値)	1,900,000	1,480,625	1,516,667
指標2当たりコスト (C/成果実績値)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

【指標データ】

指標	活動量	名称	単位	値	21年度	22年度	23年度	
					目標値	実績値		
指標1	活動量	名称	ボランティア説明会等参加者数	人	目標値	500	500	500
		説明	ボランティア説明会等参加者数		実績値	500	500	
	成果	名称	ボランティア登録者	人	目標値	150	150	150
		説明	学習支援ボランティア登録者数		実績値	128	160	
指標2	活動量	名称			目標値			
		説明			実績値			
	成果	名称			目標値			
		説明			実績値			

【第1次評価】(事業担当課による分析・自主評価)

事業概要、予算概要、総コスト指標、指標データを踏まえた自主評価	
<p>従来は、地域の教育力の活用と児童・生徒の基礎学力等の定着を目的としてきた。 現在では、新学習指導要領の改訂に伴い授業時間数が増え、学校からの要望も増加しているため、児童・生徒の基礎学力等の定着に重きを置いている。この目的を達成するため、ボランティアを活用し、学校の教育活動の支援を行い、学校活動等の充実を図った。 また、本市ボランティア登録者が本市教員として採用されるなど、地域の教育力の活性化を図ることもできた。</p>	
今後の方針（活動量：平成24年度の活動量の方針）（予算：平成23年度と比較した平成24年度の予算の方針）	
活動量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 委託化 <input type="checkbox"/> 協働化 <input type="checkbox"/> 情報化
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止

【第2次評価】（他課の管理職者による評価）

1次評価及びヒアリングを踏まえた2次評価	
<p>学生ボランティアを活用し、学校の教育活動の支援を行う本事業については、学校からの要望も増加していることから、今後も継続すべき事業である。 謝礼(交通費実費相当分)については、他市における同様の事業を充分調査のうえ検討すべきと考えるが、教職を目指す学生が教育現場を体験することにより自己の資質向上を図ることができることから、大学と連携した事業として、学習支援活動に参加した学生への単位修得(認定)等の措置が望まれる。 また、活動量の指標については、ボランティア登録者の各校への派遣数を成果とすることを検討されたい。</p>	
今後の方針（活動量：平成24年度の活動量の方針）（予算：平成23年度と比較した平成24年度の予算の方針）	
活動量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 委託化 <input type="checkbox"/> 協働化 <input type="checkbox"/> 情報化
予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止

【第3次評価】（庁内部長職者で構成する行政評価会議による評価）

1次評価及び2次評価を踏まえた3次評価	
Empty space for evaluation content	
今後の方針（活動量：平成24年度の活動量の方針）（予算：平成23年度と比較した平成24年度の予算の方針）	
活動量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 委託化 <input type="checkbox"/> 協働化 <input type="checkbox"/> 情報化
予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止

事務事業名	学校図書館活動充実事業	事務事業No.	259
【基本情報】			
実施義務	<input type="checkbox"/> 義務事業（法律で実施が義務づけられている） <input checked="" type="checkbox"/> 任意事業（ <input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例 <input type="checkbox"/> 規則・規程・要綱 <input checked="" type="checkbox"/> なし）		
根拠法令等	<input type="checkbox"/> あり（ ） <input checked="" type="checkbox"/> なし		
種別	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> 窓ソフト <input type="checkbox"/> 施設の管理・運営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> その他		
実施形態	<input type="checkbox"/> 全部直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託（ <input type="checkbox"/> 公共的団体 <input checked="" type="checkbox"/> 民間） <input type="checkbox"/> 全部委託（ <input type="checkbox"/> 公共的団体 <input type="checkbox"/> 民間）		
共通課題	<input type="checkbox"/> 環境関連 <input type="checkbox"/> 男女共同参画関連 <input type="checkbox"/> 情報化関連 <input type="checkbox"/> 市民協働関連		
担当部	学校教育部	担当課	指導室
		担当課長	豊岡 弘敏

【総合計画における位置づけ】

レベル1(柱)	レベル2(施策)	レベル3(施策)	レベル4(施策)
豊かな人間性をはぐむふれあいのあるまち(文化と教育)	学校教育	教育内容・方法の充実	時代に即した教育内容の充実

【事業概要】

目的 (何のために)	小中学校における図書室の整備や児童・生徒の読書活動の支援を行い、読書活動の推進を図る。
対象 (誰・何を対象に)	市立小中学校児童生徒
手段・方法 (内容、やり方等)	・業務委託により司書の資格を有するものを各学校へ配置。各々週2日勤務。委託内容は、①学校図書館運営の支援②読書活動の支援③図書の入、配架、修理等
活動実績 (事業の結果等)	平成22年度の本事務事業の目標は何か。 <input checked="" type="checkbox"/> 目標がある(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/> 目標がない(ない理由を下欄に記入) (学校図書館整備の支援や、児童・生徒への読書活動の推進を図る。) 平成22年度の本事務事業の目標は達成できたか。 <input checked="" type="checkbox"/> 達成できた(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/> 達成できなかった(できなかった理由を下欄に記入) (図書を活用した授業づくりができた。) 平成22年度の事業の結果等(具体的内容を下欄に記入) (委託業者との連携を密にとることで、児童・生徒の図書に興味を持つ環境づくりができた。)
見直し実績 (事業の改善、実施方法の見直し等)	事業開始から現在までに実施方法の見直し等を行っているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 行っている(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/> 行っていない(行っていない理由を下欄に記入) (配置日数の検討や業者の選定方法) 本事務事業に課題・問題点はあるか。 <input checked="" type="checkbox"/> ある(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/> ない (事業開始以来、同一業者との契約を行ってきたが、公平性の観点から契約方法の検討が必要。) 課題・問題点に対して見直しを行う必要があるか。 <input checked="" type="checkbox"/> ある →課題・問題点を見直す具体的手法は何か。(選択し具体的内容を下欄に記入、複数選択可) <input checked="" type="checkbox"/> 庁内検討 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 外部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> ない(行わない理由を下欄に記入) (平成24年度は「プロポーザル方式」で業者を選定する予定)

【総コスト指標】

(単位:円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度(計画)
事業費(決算額) ①	10,231,199	10,231,198	
当予算額	10,232,000	10,232,000	10,232,000
決算額	10,231,199	10,231,198	
執行率	99.99%	99.99%	
歳出			
人件費合計 ②	156,400	151,300	144,500
一般職員工数(人/年)	0.017	0.017	0.017
一般職員人件費	156,400	151,300	144,500
再任用職員工数(人/年)	0.000	0.000	0.000
再任用職員人件費	0	0	0
嘱託職員人件費	0	0	0
歳出計 A(①+②)	10,387,599	10,382,498	10,376,500
歳入			
国・都支出金の合計 ③	0	0	0
使用料・手数料の合計 ④	0	0	0
その他の合計 ⑤	0	0	0
歳入合計 B(③+④+⑤)	0	0	0

(単位:円)

純支出額 C(A-B)	10,387,599	10,382,498	10,376,500
市民1人当たりコスト (C/人口)	93.312	92.850	91.605
指標1当たりコスト (C/成果実績値)	741,971.357	741,607.000	741,178.571
指標2当たりコスト (C/成果実績値)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

【指標データ】

		指標	単位	値	21年度	22年度	23年度
指標1	活動量	名称	学校図書館補助員の配置日数	日	目標値	1344	1344
		説明	対象:小中全校 週2日1日5時間勤務		実績値	1344	1344
	成果	名称	学校図書館補助員の配置人数	人	目標値	14	14
		説明	各校1名ずつの配置		実績値	14	14
指標2	活動量	名称			目標値		
		説明			実績値		
	成果	名称			目標値		
		説明			実績値		

【第1次評価】(事業担当課による分析・自主評価)

事業概要、予算概要、総コスト指標、指標データを踏まえた自主評価	
平成15年に始まったこの事業も7年が経過した。この間、平成20年度に1度競争入札をしたが結果的に開始当初から同じ業者に委託をすることとなった。この業務は司書の資格が必要となる特殊性から委託可能な会社自体は多くない。しかしながら、公平性の観点から24年度の業務を行う際の業者選定には、プロポーザル方式を採用する予定である。また、現状では補助員の配置は各校週2日5時間であるが、平成23年度策定された「明日の小金井教育プラン」では将来的に配置日数を増やす予定であり、そうすると予算規模も変わってくると思われる。	
今後の方針（活動量：平成24年度の活動量の方針）（予算：平成23年度と比較した平成24年度の予算の方針）	
活動量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 委託化 <input type="checkbox"/> 協働化 <input type="checkbox"/> 情報化
予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止

事務事業名	少人数指導事業	事務事業No.	260
【基本情報】			
実施義務	<input type="checkbox"/> 義務事業（法律で実施が義務づけられている） <input checked="" type="checkbox"/> 任意事業（ <input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例 <input type="checkbox"/> 規則・規程・要綱 <input checked="" type="checkbox"/> なし）		
根拠法令等	<input type="checkbox"/> あり（ ） <input checked="" type="checkbox"/> なし		
種別	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> 窓ソフト <input type="checkbox"/> 施設の管理・運営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> その他		
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 全部直営 <input type="checkbox"/> 一部委託(公共的団体 <input type="checkbox"/> 民間) <input type="checkbox"/> 全部委託(公共的団体 <input type="checkbox"/> 民間)		
共通課題	<input type="checkbox"/> 環境関連 <input type="checkbox"/> 男女共同参画関連 <input type="checkbox"/> 情報化関連 <input type="checkbox"/> 市民協働関連		
担当部	学校教育部	担当課	指導室
		担当課長	豊岡 弘敏

【総合計画における位置づけ】

レベル1(柱)	レベル2(施策)	レベル3(施策)	レベル4(施策)
豊かな人間性をはぐくむふれあいのあるまち(文化と教育)	学校教育	教育内容・方法の充実	時代に即した教育内容の充実

【事業概要】

目的 (何のために)	小学校低学年の算数授業において、少人数の学習指導を行い、基本的な学力の定着や個性を伸ばす教育の充実を図るため、講師を配置する。
対象 (誰・何を対象に)	市立小学校児童低学年
手段・方法 (内容、やり方等)	学級数を超える少人数の学習集団を作り、講師を配置する。
活動実績 (事業の結果等)	平成22年度の本事務事業の目標は何か。 <input checked="" type="checkbox"/> 目標がある(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/> 目標がない(ない理由を下欄に記入) (数値的な目標はないが、少人数の学習指導を行うことで算数科の授業を充実させ、児童のいわゆる「算数嫌い」を無くす。) 平成22年度の本事務事業の目標は達成できたか。 <input checked="" type="checkbox"/> 達成できた(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/> 達成できなかった(できなかった理由を下欄に記入) (算数科における指導の充実を図ることができた) 平成22年度の事業の結果等(具体的内容を下欄に記入) (市立小学校9校で1名ずつの少人数指導講師を配置することができた)
見直し実績 (事業の改善、実施方法の見直し等)	事業開始から現在までに実施方法の見直し等を行っているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 行っている(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/> 行っていない(行っていない理由を下欄に記入) (授業時数が適切であるかの検討) 本事務事業に課題・問題点はあるか。 <input checked="" type="checkbox"/> ある(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/> ない (学習指導要領の改訂に伴い、算数の時数が増加したが、講師の時数が週4時間と限られているため、全ての時間に配置することが出来るわけではない) 課題・問題点に対して見直しを行う必要があるか。 <input checked="" type="checkbox"/> ある →課題・問題点を見直す具体的手法は何か。(選択し具体的内容を下欄に記入、複数選択可) <input checked="" type="checkbox"/> 庁内検討 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 外部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> ない(行わない理由を下欄に記入) (全ての時間に配置できる予算が確保できるか、他市の状況を勘案する必要がある)

【総コスト指標】

(単位:円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度(計画)	
歳出	事業費(決算額) ①	4,618,000	4,360,000	
	当初予算額	5,840,000	5,256,000	5,256,000
	決算額	4,618,000	4,360,000	
	執行率	79.08%	82.95%	
	人件費合計 ②	460,000	445,000	425,000
	一般職員工数(人/年)	0.050	0.050	0.050
	一般職員人件費	460,000	445,000	425,000
	再任用職員工数(人/年)	0.000	0.000	0.000
	再任用職員人件費	0	0	0
	嘱託職員人件費	0	0	0
歳出計 A(①+②)	5,078,000	4,805,000	5,681,000	
歳入	国・都支出金の合計 ③	0	0	0
	使用料・手数料の合計 ④	0	0	0
	その他の合計 ⑤	0	0	0
	歳入合計 B(③+④+⑤)	0	0	0

(単位:円)

純支出額 C(A-B)	5,078,000	4,805,000	5,681,000
市民1人当たりコスト (C/人口)	45.616	42.971	50.152
指標1当たりコスト (C/成果実績値)	3,299.545	3,306.951	3,242.580
指標2当たりコスト (C/成果実績値)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

【指標データ】

指標	活動量	名称	単位	値	21年度	22年度	23年度	
					目標値	実績値		
指標1	活動量	名称	少人数指導講師配置人数	人	目標値	9	9	9
		説明	小学校各校1名ずつの講師を配置できた		実績値	9	9	
	成果	名称	全校での活用総時数	時間	目標値	1946	1752	1752
		説明	小学校9校での活用実施総時間数		実績値	1539	1453	
指標2	活動量	名称			目標値			
		説明			実績値			
	成果	名称			目標値			
		説明			実績値			

【第1次評価】(事業担当課による分析・自主評価)

事業概要、予算概要、総コスト指標、指標データを踏まえた自主評価	
学習指導要領の改訂により、小学校の算数の時数が増えた。しかしながら、小学校第一学年の児童については、算数の授業で履くことが他の科目より比較的多く見られる。この時期の子どもたちは、1度履いてしまうと学年が上がることに習熟度が遅れて行くことが危惧されている。これらのことを鑑み、小学校第一学年のクラスを(習熟度別)少人数に分割し、講師を配置することで授業の充実(算数嫌いを無くす)を目指す。今後も続けていく必要がある事業である。	
今後の方針 (活動量:平成24年度の活動量の方針) (予算:平成23年度と比較した平成24年度の予算の方針)	
活動量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 委託化 <input type="checkbox"/> 協働化 <input type="checkbox"/> 情報化
予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止

事務事業名	適応指導事業	事務事業No.	271
【基本情報】			
実施義務	<input type="checkbox"/> 義務事業（法律で実施が義務づけられている） <input checked="" type="checkbox"/> 任意事業（ <input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例 <input type="checkbox"/> 規則・規程・要綱 <input checked="" type="checkbox"/> なし）		
根拠法令等	<input type="checkbox"/> あり（ ） <input checked="" type="checkbox"/> なし		
種別	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> 窓ソフト <input type="checkbox"/> 施設の管理・運営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> その他		
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 全部直営 <input type="checkbox"/> 一部委託（ <input type="checkbox"/> 公共的団体 <input type="checkbox"/> 民間） <input type="checkbox"/> 全部委託（ <input type="checkbox"/> 公共的団体 <input type="checkbox"/> 民間）		
共通課題	<input type="checkbox"/> 環境関連 <input type="checkbox"/> 男女共同参画関連 <input type="checkbox"/> 情報化関連 <input type="checkbox"/> 市民協働関連		
担当部	学校教育部	担当課	指導室
		担当課長	豊岡 弘敏

【総合計画における位置づけ】

レベル1(柱)	レベル2(施策)	レベル3(施策)	レベル4(施策)
豊かな人間性をはぐくむふれあいのあるまち(文化と教育)	学校教育	教育内容・方法の充実	児童生徒の心と体のケア

【事業概要】

目的 (何のために)	指導室所管の適応指導教室「もくせい教室」の適切な運営
対象 (誰・何を対象に)	市立小中学校不登校児童生徒
手段・方法 (内容、やり方等)	市立小中学校において不登校となっている児童・生徒に対し一時的に教室に通い、在籍校へ戻る訓練をおこなう
活動実績 (事業の結果等)	平成22年度の本事務事業の目標は何か。 <input checked="" type="checkbox"/> 目標がある(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/> 目標がない(ない理由を下欄に記入) (通級している児童生徒を在籍校へ戻れるようにすること) 平成22年度の本事務事業の目標は達成できたか。 <input type="checkbox"/> 達成できた(具体的内容を下欄に記入) <input checked="" type="checkbox"/> 達成できなかった(できなかった理由を下欄に記入) (通級している児童生徒を在籍校へ戻れるようにすることは難しかったこと) 平成22年度の事業の結果等(具体的内容を下欄に記入) (通常の学習指導のみならず調理実習や遠足等校外学習を取り入れた活動ができた)
見直し実績 (事業の改善、実施方法の見直し等)	事業開始から現在までに実施方法の見直し等を行っているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 行っている(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/> 行っていない(行っていない理由を下欄に記入) (毎年一定の指導方法ではなく、通級してくる子どもたちの状況に応じた指導を心掛けること) 本事務事業に課題・問題点はあるか。 <input checked="" type="checkbox"/> ある(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/> ない (不登校児童・生徒の教室への通級数があまり多くないということ) 課題・問題点に対して見直しを行う必要があるか。 <input checked="" type="checkbox"/> ある →課題・問題点を見直す具体的手法は何か。(選択し具体的内容を下欄に記入、複数選択可) <input checked="" type="checkbox"/> 庁内検討 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 外部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> ない(行わない理由を下欄に記入) (教室における行事の再検討、また教室内の備品等を増やして魅力ある教室へのリニューアルを検討中である)

【総コスト指標】

(単位:円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度(計画)	
歳出	事業費(決算額) ①	9,253,473	9,368,663	
	当初予算額	9,455,000	9,305,000	10,379,000
	決算額	9,253,473	9,368,663	
	執行率	97.87%	100.68%	
	人件費合計 ②	230,000	222,500	212,500
	一般職員工数(人/年)	0.025	0.025	0.025
	一般職員人件費	230,000	222,500	212,500
	再任用職員工数(人/年)	0.000	0.000	0.000
	再任用職員人件費	0	0	0
	嘱託職員人件費	0	0	0
歳出計 A(①+②)	9,483,473	9,591,163	10,591,500	
歳入	国・都支出金の合計 ③	0	0	0
	使用料・手数料の合計 ④	0	0	0
	その他の合計 ⑤	0	0	0
	歳入合計 B(③+④+⑤)	0	0	0

(単位:円)

純支出額 C(A-B)	9,483,473	9,591,163	10,591,500
市民1人当たりコスト (C/人口)	85.190	85.773	93.503
指標1当たりコスト (C/成果実績値)	4,741,736.500	4,795,581.500	#VALUE!
指標2当たりコスト (C/成果実績値)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

【指標データ】

		指標	単位	値	21年度	22年度	23年度	
指標1	活動量	名称	遠足等行事数	数	目標値	8	9	9
		説明	学習室で行なう以外の遠足等行事数		実績値	8	9	
	成果	名称	在籍学校へ戻った児童生徒数	人	目標値	9	8	-
		説明	教室へ通級してきた子どもの中で在籍校へ戻った人数		実績値	2	2	
指標2	活動量	名称			目標値			
		説明			実績値			
	成果	名称			目標値			
		説明			実績値			

【第1次評価】(事業担当課による分析・自主評価)

事業概要、予算概要、総コスト指標、指標データを踏まえた自主評価	
この教室は市立小中学校に在籍しているが不登校となり通学出来ない児童生徒のために一時的に教室へ通級し、やがて在籍校へ戻る訓練をするための施設であるが、利用者があまり多くないのが現状である。不登校の児童生徒の状態は様々であるので、今後は多様な子どもたちに対応できるよう、施設の改善や行事の再検討をし、魅力ある教室づくりをする必要がある、と考える。	
今後の方針（活動量：平成24年度の活動量の方針）（予算：平成23年度と比較した平成24年度の予算の方針）	
活動量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 委託化 <input type="checkbox"/> 協働化 <input type="checkbox"/> 情報化
予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止

事務事業名	教員研究指導事業	事務事業No.	274
【基本情報】			
実施義務	<input type="checkbox"/> 義務事業（法律で実施が義務づけられている） <input checked="" type="checkbox"/> 任意事業（ <input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例 <input type="checkbox"/> 規則・規程・要綱 <input checked="" type="checkbox"/> なし）		
根拠法令等	<input type="checkbox"/> あり（ ） <input checked="" type="checkbox"/> なし		
種別	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> 窓ソフト <input type="checkbox"/> 施設の管理・運営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> その他		
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 全部直営 <input type="checkbox"/> 一部委託（ <input type="checkbox"/> 公共的団体 <input type="checkbox"/> 民間） <input type="checkbox"/> 全部委託（ <input type="checkbox"/> 公共的団体 <input type="checkbox"/> 民間）		
共通課題	<input type="checkbox"/> 環境関連 <input type="checkbox"/> 男女共同参画関連 <input type="checkbox"/> 情報化関連 <input type="checkbox"/> 市民協働関連		
担当部	学校教育部	担当課	指導室
		担当課長	豊岡 弘敏

【総合計画における位置づけ】

レベル1(柱)	レベル2(施策)	レベル3(施策)	レベル4(施策)
豊かな人間性をはぐむふれあいのあるまち(文化と教育)	学校教育	教育内容・方法の充実	児童生徒の心と体のケア

【事業概要】

目的 (何のために)	学校での教員等における指導業務にかかる事業①スクールカウンセラー活用事業②理科支援員配置事業
対象 (誰・何を対象に)	①スクールカウンセラー→小・中学校児童生徒とその保護者、教員 ②理科支援員→小学校5・6年生児童
手段・方法 (内容、やり方等)	①児童生徒、教員等に対するスクールカウンセラーの活用 ②理科支援員活用した理科授業の充実
活動実績 (事業の結果等)	<p>平成22年度の本事務事業の目標は何か。 <input checked="" type="checkbox"/>目標がある(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/>目標がない(ない理由を下欄に記入)</p> <p>(①スクールカウンセラー活用→校内の教育相談体制の充実 ②理科支援員→理科教育の充実)</p> <p>平成22年度の本事務事業の目標は達成できたか。 <input checked="" type="checkbox"/>達成できた(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/>達成できなかった(できなかった理由を下欄に記入)</p> <p>(スクールカウンセラー及び理科支援員ともにほぼ予定通りの活用ができた)</p> <p>平成22年度の事業の結果等(具体的内容を下欄に記入)</p> <p>(①児童のいじめ、トラブル等に対して未然に防ぐことができた。②理科支援員の活用については前年度より減少した(国からの補助金が減ったため))</p>
見直し実績 (事業の改善、実施方法の見直し等)	<p>事業開始から現在までに実施方法の見直し等を行っているか。 <input checked="" type="checkbox"/>行っている(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/>行っていない(行っていない理由を下欄に記入)</p> <p>(①スクールカウンセラー→年々必要性が増し、派遣時間を増やした。②理科支援員→特になし(国や都の基準で行なっているため))</p> <p>本事務事業に課題・問題点はあるか。 <input checked="" type="checkbox"/>ある(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/>ない</p> <p>(①スクールカウンセラー→特になし ②理科支援員→国からの補助で行っている事業であるため、予算額が年々減りつつある。)</p> <p>課題・問題点に対して見直しを行う必要があるか。 <input checked="" type="checkbox"/>ある →課題・問題点を見直す具体的手法は何か。(選択し具体的内容を下欄に記入、複数選択可) <input checked="" type="checkbox"/>庁内検討 <input type="checkbox"/>市民協働 <input type="checkbox"/>外部委託 <input type="checkbox"/>指定管理者 <input type="checkbox"/>その他 <input type="checkbox"/>ない(行わない理由を下欄に記入)</p> <p>(①スクールカウンセラー→特になし ②理科支援員→国からの補助が減額され、かつ将来的に補助が廃止される予定なので、一般財源を活用し事業が継続できるよう検討中)</p>

【総コスト指標】

(単位:円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度(計画)	
歳出	事業費(決算額) ①	10,971,073	10,588,125	
	当初予算額	11,062,000	11,550,000	11,347,000
	決算額	10,971,073	10,588,125	
	執行率	99.18%	91.67%	
	人件費合計 ②	920,000	890,000	850,000
	一般職員工数(人/年)	0.100	0.100	0.100
	一般職員人件費	920,000	890,000	850,000
	再任用職員工数(人/年)	0.000	0.000	0.000
	再任用職員人件費	0	0	0
	嘱託職員人件費	0	0	0
歳出計 A(①+②)	11,891,073	11,478,125	12,197,000	
歳入	国・都支出金の合計 ③	0	0	0
	使用料・手数料の合計 ④	0	0	0
	その他の合計 ⑤	0	0	0
	歳入合計 B(③+④+⑤)	0	0	0

(単位:円)

純支出額 C(A-B)	11,891,073	11,478,125	12,197,000
市民1人当たりコスト (C/人口)	106.818	102.648	107.676
指標1当たりコスト (C/成果実績値)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
指標2当たりコスト (C/成果実績値)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

【指標データ】

指標	活動量	名称	指標	単位	値	21年度	22年度	23年度
						目標値	実績値	
指標1	活動量	名称	市配置のスクールカウンセラー数	人	目標値	9	9	9
		説明	小学校1校あたり1名配置		実績値	9	9	
	成果	名称			目標値			
		説明			実績値			
指標2	活動量	名称	理科支援員活用時数	時	目標値	20	8	20
		説明	理科支援員の活用が可能なひとクラス当たりの時間数		実績値	20	8	
	成果	名称			目標値			
		説明			実績値			

【第1次評価】(事業担当課による分析・自主評価)

事業概要、予算概要、総コスト指標、指標データを踏まえた自主評価	
①スクールカウンセラー活用事業→この事業は市の配置予算によるもので小学校9校1名ずつ配置されているが、中学校については、東京都予算で各校1名ずつの5名が配置されている。東京都もスクールカウンセラーの充実に力を入れており、平成23年度からは一部の小学校(5校)に5名が配置されることとなった。これを鑑みると、今後もこの事業は市としても充実を必要があると考えている。②理科支援員活用事業→この事業は国の補助を得て行ってきた事業であるが、昨年の国の事業仕分けにより、全体予算の削減が決定し、予算の削減とともに数年での事業の廃止が決まっている。しかし、市としては、平成23年度に策定された「明日の小金井教育プラン」により理科教育の充実が目標とされており、このことから今後は一般財源で事業の継続ができないか検討している。	
今後の方針(活動量:平成24年度の活動量の方針)(予算:平成23年度と比較した平成24年度の予算の方針)	
活動量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 委託化 <input type="checkbox"/> 協働化 <input type="checkbox"/> 情報化
予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止

事務事業名	教員研究研修事業	事務事業No.	282
【基本情報】			
実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 義務事業（法律で実施が義務づけられている） <input type="checkbox"/> 任意事業（ <input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例 <input type="checkbox"/> 規則・規程・要綱 <input type="checkbox"/> なし）		
根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> あり（教育基本法、学校教育法、学校教育法施行例、学校教育法施行規則、学習指導要領） <input type="checkbox"/> なし		
種別	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> 窓ソフト <input type="checkbox"/> 施設の管理・運営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> その他		
実施形態	<input type="checkbox"/> 全部直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託（ <input checked="" type="checkbox"/> 公共的団体 <input type="checkbox"/> 民間） <input type="checkbox"/> 全部委託（ <input type="checkbox"/> 公共的団体 <input type="checkbox"/> 民間）		
共通課題	<input type="checkbox"/> 環境関連 <input type="checkbox"/> 男女共同参画関連 <input type="checkbox"/> 情報化関連 <input type="checkbox"/> 市民協働関連		
担当部	学校教育部	担当課	指導室
		担当課長	豊岡弘敏

【総合計画における位置づけ】

レベル1(柱)	レベル2(施策)	レベル3(施策)	レベル4(施策)
豊かな人間性をはぐくむふれあいのあるまち(文化と教育)	学校教育	教育内容・方法の充実	教職員の研修・研究の充実

【事業概要】

目的 (何のために)	小金井市立小中学校の教職員相互の研究及び研修を促進し、小金井市の教育向上に寄与し、児童生徒の教育の向上を目指す。
対象 (誰・何を対象に)	市立小・中学校の教職員
手段・方法 (内容、やり方等)	1 教職員相互の研究及び研修事業を自主的に行う「小金井市教育研究会」に対して、助成金を交付し、活動を支援する 2 東京都及び市教育委員会主催の各研究会について、開催の調整・準備を行い、教職員の資質の向上を図る 3 学校等を単位とした研究グループに対し、各テーマに基づいた研究の委託を行い、研究成果の発表等を通じ、小金井市全体の教育の向上に寄与する
活動実績 (事業の結果等)	平成22年度の本事務事業の目標は何か。 <input checked="" type="checkbox"/> 目標がある(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/> 目標がない(ない理由を下欄に記入) 1 小金井市教育研究会の活動を支援し、促進する 2 東京都及び市教育研究会による各種研修会を実施する 3 研究委託事業を市立小中学校教職員による研究グループに委託し、研究成果について相互の情報共有を図る 平成22年度の本事務事業の目標は達成できたか。 <input checked="" type="checkbox"/> 達成できた(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/> 達成できなかった(できなかった理由を下欄に記入) (1 参加人数380人 2 研修会の実施:11種類(指数にて人数・回数参照) 3 研究委託校数:全14校) 平成22年度の事業の結果等(具体的内容を下欄に記入) 1 小金井市立小中学校の教職員全員が研究に参加でき、各自の研究内容を成果物により共有できた 2 東京都及び市教育研究会による各種研修会を実施した 3 各研究委託事業の成果を、研究発表会や資料の共有等を通じ、全校的に情報を共有できた
見直し実績 (事業の改善、実施方法の見直し等)	事業開始から現在までに実施方法の見直し等を行っているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 行っている(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/> 行っていない(行っていない理由を下欄に記入) (1 市教育研究会助成金の単価の変更、2 教育課程や時代に即した内容への変更、3 各種研究委託事業の見直しや統廃合) 本事務事業に課題・問題点はあるか。 <input checked="" type="checkbox"/> ある(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/> ない 小金井市立小中学校の公平かつ安定した教育の資質の維持のためには、一定の研究研修の継続が必要であるが、逼迫した財政状況から、研修資料作成に係る消耗品の削減や研究委託事業の在り方に関する見直しを図る風潮もあり、全体の事業の中での調整に苦慮している 課題・問題点に対して見直しを行う必要があるか。 <input checked="" type="checkbox"/> ある →課題・問題点を見直す具体的手法は何か。(選択し具体的内容を下欄に記入、複数選択可) <input checked="" type="checkbox"/> 庁内検討 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 外部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> ない(行わない理由を下欄に記入)
	(学校現場における研究委託の現状と、小金井市全体の財政状況及び指導室内の事業全体の在り方を再考し、柔軟に変更も考慮に入れ、調整を図る。)

【総コスト指標】 (単位:円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度(計画)
事業費(決算額) ①	2,742,227	3,012,392	
当初予算額	3,210,000	3,181,000	3,188,000
決算額	2,742,227	3,012,392	
執行率	85.43%	94.70%	
歳出			
人件費合計 ②	506,000	489,500	467,500
一般職員工数(人/年)	0.055	0.055	0.055
一般職員人件費	506,000	489,500	467,500
再任用職員工数(人/年)	0.000	0.000	0.000
再任用職員人件費	0	0	0
嘱託職員人件費	0	0	0
歳出計 A(①+②)	3,248,227	3,501,892	3,655,500
歳入			
国・都支出金の合計 ③	0	0	0
使用料・手数料の合計 ④	0	0	0
その他の合計 ⑤	0	0	0
歳入合計 B(③+④+⑤)	0	0	0

(単位:円)

純支出額 C(A-B)	3,248,227	3,501,892	3,655,500
市民1人当たりコスト (C/人口)	29,179	31,317	32,271
指標1当たりコスト (C/成果実績値)	129,929.080	140,075.680	146,220.000
指標2当たりコスト (C/成果実績値)	2,673.438	3,294.348	3,046.250

【指標データ】

指標	活動量	名称	単位	値	21年度	22年度	23年度	
					目標値	実績値	実績値	
指標1	活動量	名称	小金井市教育研究会	人	目標値	379	380	382
		説明	全教職員が参加		実績値	379	380	
	成果	名称	研究発表数	部	目標値	25	25	25
		説明	各部の活動報告		実績値	25	25	
指標2	活動量	名称	各種研修会の実施	回	目標値	80	80	80
		説明	教科等研修会、初任者研修会、副校長研修会、教務主任研修会、養護教諭研修会、研究主任研修会、生活指導主任研修会、農産指導主任研修会、中学校生活指導研修会、スクールカウンセラー研修会、特別支援教育研修会		実績値	79	81	
	成果	名称	研修会参加延べ人数	人	目標値	1264	1134	1200
		説明			実績値	1215	1063	

【第1次評価】(事業担当課による分析・自主評価)

事業概要、予算概要、総コスト指標、指標データを踏まえた自主評価	
市教育研究会助成事業については、平成19年度まで実施規模や助成金額が一切の変更がなく、継続されていた点が課題であった。そこで助成金額について、より効果的な事業運営を促すべく、近隣市の助成方法も参考にし、助成金額を自己負担金額と同額に変更した。また、研究部数も微増や再編も行われ、小金井市内の小中学校において、所属の学校の枠を超えて小金井市という地域を単位とし、定期的に各研究部会を実施している点は小金井市の教育に大変有効であり、これからも継続していきたいところである。 また、研修会及び研究奨励事業については、毎年継続して、様々な分野にて時代に即した内容を検討しながら実施しており、今後とも小金井市の学校教育に不可欠な事業といえ、継続を図りたいところである。	
今後の方針(活動量:平成24年度の活動量の方針)(予算:平成23年度と比較した平成24年度の予算の方針)	
活動量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 委託化 <input type="checkbox"/> 協働化 <input type="checkbox"/> 情報化
予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止